



月刊

# もぐら通信

2013年7月1日

第128号

<http://abekobosplace.blogspot.jp>

あなたへ：  
迷う事のない迷路を通して  
あなただけの番地に届きます

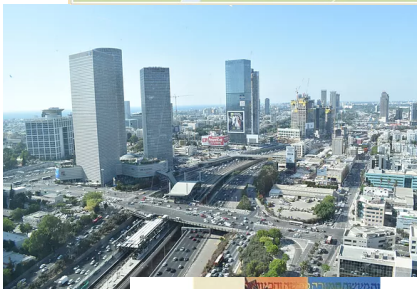
もぐら通信を自由にあなたの「友達」に配付して下さい

「[イスラエルが建国された後も] (略) 現実にはいぜん、ユダヤ人アレルギー患者があとを絶たない。どうやらユダヤ的なるものの毒素は、イスラエルという解毒剤をもってしても、なお及ばないほど強力なものだったらしいのだ。/そのはずである。その毒素はユダヤ人という外からの侵入者によって持ち込まれたものではなく、じつは本物の国民という「正統神話」自身の内部からにじみ出して来た、おのれの体内の毒だったのだから。ユダヤ人アレルギーも、けっきょくは一種の自家中毒にほかならない。国家が、「正統神話」によりどこを求めるとかぎり、異端の毒は永遠にでも再生産されつづけることだろう。そして、そこにたまたま、ユダヤ人がいたというわけだ。」 (『内なる辺境』全集第22巻222ページ下段)



イスラエルの国旗

イスラエル国



安部



フランクフルト市のユダヤ人のゲートの内部の様子。ゲートは自叙伝『詩と真実』の中で入り口の門前で子供時代に中を覗いた経験を書いてあります。ゲートは何か独特の臭ひがしたと書いてあります。天才といふものはあるもので、自叙伝を読むと一桁の子供時代にゲートは古代ヘブライ語を先生について学んでますから、旧約聖書も古代ヘブライ語で読んだ筈です。あと安部公房に通じて誠に興味深いのは、自分の家の三階の屋根裏部屋の小窓から下に見える往來の様子を見た時の思ひ出を書いてみて (部屋の中は暗いことせう)、安部公房の「奉天の窓」に通じる印象深い言葉を残してあることです。小学生の安部公房の経験と思考論理はこれも誠に抽象度の高い普遍性のあるものです。

[abekobosplace.blogspot.jp](http://abekobosplace.blogspot.jp) 問合せ：[takranke2003@yahoo.co.jp](mailto:takranke2003@yahoo.co.jp)



『S・カルマ氏の犯罪』の最後に登場する  
非ユークリッド空間を映写する映写機

## 目次

- 1 目次…page 3
- 2 記録&ニュース&掲示板page 4
- 3 巻頭詩（15）：黒いタンバリン：日本で初めての「男色者による詩」の読解（前篇）：男色者の詩を男色者の詩として読む：ハート・クレイン……page 10
- 4 周辺飛行（39）：3。『周辺飛行』について（21）：アリスのカメラ：周辺飛行37：岩田英哉…page 27
- 5 二十一世紀の日本文学のためのスケッチ・ブック（10）：7.3 ヨーロッパの近代小説とは一体何であつたのか？：岩田英哉……page 32
- 6 私の本棚（34）：深田萌絵著『日本のIT産業が中国に盗まれている』を読む：岩田英哉……page 47
- 7 糞尿と性愛の文学～生殖器・排泄器同一社会論仮説～（3）：1。古事記の中の糞尿と性愛/
  - 1.1 神武初代天皇の皇后（きさき）の出生譚（2）：また次号：岩田英哉…page 52
- 8 ネット・メディア論（14）：7.3 7.3ビルダーベルク会議とダヴォス会議と国家との関係：また次号：岩田英哉…page 57
- 9 *Mole Hole Letter*（54）：さらば、Google!（2）～断捨離GAFAsシリーズ（3）：岩田英哉…page 54
- 10 縄文紀元論：Topologyで日本人を読み解く（12）：5.1 6.4 八の音義は何を意味するか（2）：岩田英哉…page 56
- 11 Topologyで日本の文化を解説する「内なる辺境シリーズ（12）：扇：また次号：岩田英哉…page 73
- 12 編集後記…page 74

・編集方針

### The Best Tweets of the Month

Golden Mole  
Prize

BrainMobile phone with rightwards arrow at left@kyomuprix-Feb 11  
安部公房しか俺を救ってくれない

Silver Mole  
Prize

秦大谷@ciderlemonade-Feb 16  
三島由紀夫以後三島由紀夫のような人は出てきたと思うけど、安部公房以後安部公房のよ  
うな人が出ていない不思議。

### The worst tweet of the month

ジロウ@jiro6663-Feb 11  
ぜんぜん関係ないけど1960年代あたりのダム反対闘争のことを調べて  
いたら安部公房による短いルポが出てきて、へえこんな仕事もしてるん  
だと思いながら読んでみたら、**まったくつまらない記事で**、いろんな事  
情のあった仕事なんだろうなあと思って逆に感慨深かった。



### 今月の密会

Allypapa0629@allypapa0629-Feb 13  
小田原あたりで昼になったので、車を停めて駅周辺をウロウロ。ミナカ小田原も覗いてみた  
もののこれという店もなく、結局いつもの喫茶店  
^^;)のビーフカレーに。#sdquattro #SIGMA



### 今月の安部公房全集

ホッタタカシ@t\_hotta-Feb 13  
安部公房全集や安部作品の新潮文庫（新版）で  
装丁を手がけたデザイナー・近藤一弥の寄稿。：  
<https://imaonline.jp/articles/archive/20210210k>

【小説同様に前衛的！ 文豪・安部公房の写真家の側面】



小説同様に前衛的！ 文豪・安部公房の写真家の側面 | ARTICLES | IMA ONLI...  
小説同様に前衛的！ 文豪・安部公房の写真家の側面。2021年2月10日（水）公

## 今月の大江健三郎

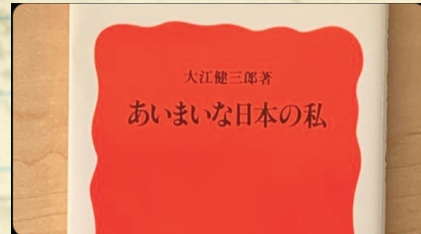
大江健三郎 「あいまいな日本の私」

再読。ノーベル文学賞受賞講演を含む9つの講演を収録。文学への好奇心を刺激されます  
シモーヌ・ヴェイユのところを読みたかったのですが、ほかに安部公房、井伏鱒二、漱石、  
村上春樹への言及が面白かった。あと仙境異聞と大江さんの祖先が関係あるのも驚き

## 今月の無名詩集

madeleine@storyforf・Feb 15

さながら星の運命の様に  
君のリンゴも名前を忘れたらう  
完結したものは名前を持たない  
再び現実に復帰した  
夢想の上を行く蒼い透明だ



——安部公房「リンゴの実」より

madeleine@storyforf・Feb 15

僕も亦その途を行けるだらうか  
球体への涯しない内部の途を  
窮め得ぬその面（も）の影にさながら  
路標（しるべ）なき存在を泣かぬだらうか  
君が差出した一つの結実を  
今僕は唯明るい夢の様に怖れる  
涙も亦一つの球体ではなかったか

——安部公房「リンゴの実」より

## 今月の時の崖

ホッタタカシ@t\_hotta・Feb 11

3月7日は安部公房の誕生日ですが、佐賀県で『時の崖』が上演されるそうです。観客は上演中、アイマスクを着用して音（こえ）だけで体験する演劇なんだとか。

【薩摩琵琶かなこ堂／見えない演劇『時の崖』～音（こえ）で誘う安部公房の世界～】

<https://www.livesbeyond.jp/cn4/2021-02-09.html>

## 今月の愛読者

黄田彩斗(VTuber)@配信活動休止中@Ayato\_Coda・Feb 11

安部公房の「友達」を完読しました…。

読むのにたっぷり一年は掛かりました…。

おかしいのは、この作品は文庫本で120頁程度、しかも戯曲の台本なので、その気があれば一時間かそこらで読めるはずだということです。

薩摩琵琶かなこ堂／見えない演劇「時の崖」～音（こえ）で誘う安部公房の世界～

2021年03月17日

見えない演劇「時の崖」作：安部公房

～音で誘う、安部公房の世界～

「見えない演劇」では演劇の上演中は出演者にアイマスクを着用し、観客もまたアイマスクを着用して音（こえ）だけで演劇を体験していただきます。上演後、アンケートの際にはアイマスクを外していただけます。

出演	ご案内
ゴウゴウ 齋藤 誠 見えない演劇 音（こえ）	日程 2021年3月7日（日） 時間 ①13:30 ②16:30 2部制（アイマスク着用） 場所 小城市牛津赤井公民館 観劇券（観劇券）1,500円
スタッフ	チケット 1000円（税込） 2月15日閉 午前9:00より受付開始 ※観劇券は観劇券です。

3月17日～31日限定！YouTube配信

今月の公演は、Lives Beyondのライブ配信にて、3月17日～31日限定でYouTube配信いたします。観劇券がなくても観劇体験することができます。お気軽に見えなごえにアクセスください。

問合せ 0952-62-8396  
ウェブサイト: <https://soyaji-engeki.com/ticket>

## もぐら通信

つまり、そのくらい頁を進めるのが辛かったということです。

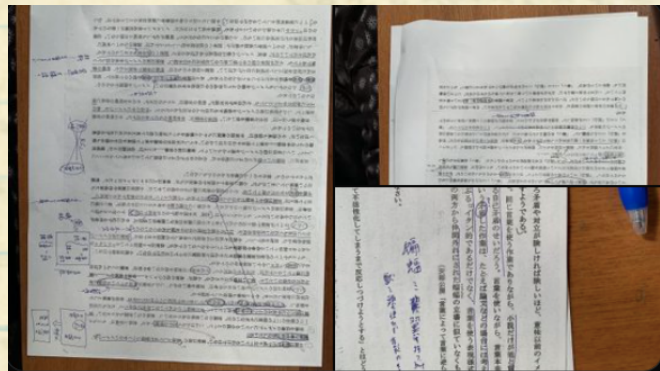
まいこはん@maicohaann・Feb 14

いま刊行されている安部公房の新潮文庫の作品を全て読み終えた。安部公房自身が撮影した写真が使われているおしゃれなカバー、並べるとミニ写真展みたい



如月翔(社築声真似練習中)@Kisaragishou0・Feb 11

いや、一応安部公房の文章読解したけど、結局なんなん？



### 今月の砂の女

ひすみや(日角屋withミー)@hisumiya1・Feb 10

Replying to

@hayama\_official

庄内砂丘といえば

私が最も好きな作家・安部公房の代表作「砂の女」を十代で読むきっかけが

私が石川県の「内灘砂丘」の上に江戸時代から住み続ける一族の末裔で、砂丘に非常に馴染みが深かった事

安部公房が砂の害に苦しむ酒田市浜中地区の記事から作品の着想を得たと聞いて、とても親近感がねGrinning face with smiling eyesGrinning cat face with smiling eyesThumbs up

### 今月の鉛の卵

山田 秀樹@XqTZw5WP79pOaQF・Feb 12

@sasahara\_yuri

初めて読んだSFは中学校の図書室にあった安部公房の『鉛の卵』です。日本初の本格的SF長編といわれる『第四間氷期』も読んだ記憶があります。安部公房の代表作は『砂の女』です。安部公房は東大医学部卒ですが、医師にならないことが卒業の条件だったそうです。

## もぐら通信

### 今月のヘンリー・ミラー

ヘンリー・ミラー-bot@henrymiller\_b-Feb 16

安部公房「ミラーのおしゃべりはそのランボオの寡黙というか、沈黙からむしろスタートしていると思うのだ。僕はそう思うよ」三島由紀夫「それはまたあんなに情熱的なランボオ論を書いた理由かも知れないのだよ、あれがね。そうかもしれないのだ」

### 今月のドイツ語

三条京阪@sanjou\_keihan-Feb 11

満州で生まれたのに中国語を忘れ、東大でドイツ語を学んだのにドイツ語を忘れ、当然のように英語も忘れ、ドナルドキーンに「天才」と言わしめた安部公房の話をみんなしてる。

### 今月の笑う月

Sakurai Satomi@sakurai\_satomi-Feb 14

@NeverGirls

ちゃん、あったあった、この写真のです。アクセサリースタンドの撮影に使った覚えがあった。大きいからわざわざ宅配なんかでやり取りするのもなんなので... 今度お会いできそうな時にでもお貸ししますね。[http://natsume-books.com/list\\_photo.php?id=187424](http://natsume-books.com/list_photo.php?id=187424)... 笑う月/安部公房



### 今月の養老孟司

まいこはん@maicohaann-21h

養老先生といえば、安部公房との対談も面白かった

安部公房「文明のキーワード」聞き手：養老孟司（1987年）

[https://www.youtube.com/watch?v=ZboCo6bk88k&feature=emb\\_logo](https://www.youtube.com/watch?v=ZboCo6bk88k&feature=emb_logo)



### 今月のトーマス・マン

最首悟@ssaishu-Feb 15

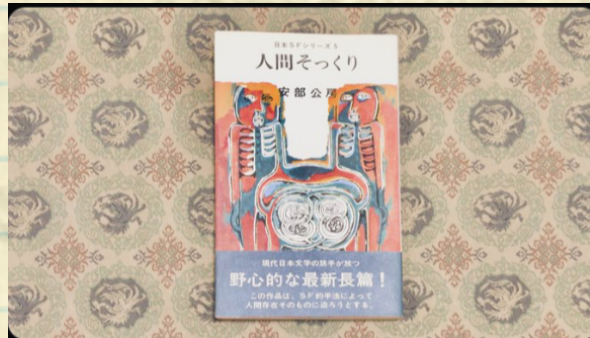
『砂漠の思想』で安部公房は、トーマス・マンを引いて、名前を与えられていなかったとき、ライオンは得体の知れない怪物であり、ただおびえる以外になかったのだが、一度それに名前がつけられてしまうと、いずれは撃ち斃すことの可能な獲物になってしまう、と言ったと瀬山士郎『はじめての現代数学』。

## もぐら通信

### 今月の人間そっくり

ヒコ@Pocky1123・21h

安部公房『人間そっくり』の初版本（昭和42年、早川書房）です。トポロジーの概念を文学に取り入れたSF。火星人と名乗る男と会話するうち、段々と自我を蝕まれていく「私」の辿り着く最期。軽妙で読みやすい文章と裏腹に現代人の不確かな自我を鋭く突くギャップが堪りません。



### 今月の頭木弘樹

Toshimi Yoshida@NeverGirls・Feb 16

今とてもタイムリーな「引きこもり図書館」頭木弘樹編、毎日新聞社刊。引きこもることで人が気づく心身の変化をとらえた文学の数々。萩尾望都の短編漫画「スロー・ダウン」も収録。アンソロジーといえばその昔、福島正実のあつめたSF短編集によって出会い、彼方へ連れ出された、名品たちを思い出す。



### 今月の勅使河原宏/安部公房/武満徹

勅使河原宏/安部公房/武満徹 「砂の女、他人の顔、燃えつきた地図」を語る。ふかわりょうみあるw

[https://www.youtube.com/watch?v=5Gp3MINB6iA&feature=emb\\_logo](https://www.youtube.com/watch?v=5Gp3MINB6iA&feature=emb_logo)



### 今月の反文化大革命

もも@knikkhym・Feb 15

人間の知恵が、もし文化の普及というか、あるいは文化の普遍化ということに関係があるのならば、破壊力の普遍化にも関係があるんじゃないですか。

#三島由紀夫「われわれはなぜ声明を出したか」（石川淳・川端康成・安部公房との座談会）

# もぐら通信

## 今月の他人の顔

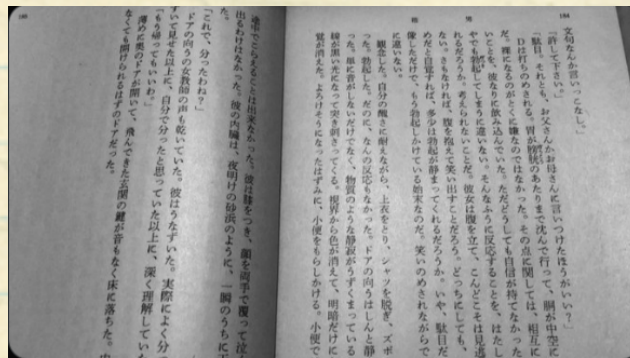
円堂都司昭@endingendless・Feb 11

安部公房原作・脚本、勅使河原宏監督『他人の顔』観た。キャストすごい。主役が仲代達矢、医者に平幹二郎、看護婦に岸田今日子、ヨーヨーしてる市原悦子、精神病院に田中邦衛、ビヤホールで歌ってる前田美波里。濃い。鼻血出る。で、仮面の男の隣に京マチ子てのはドラマ『犬神家の一族』の前哨戦ばいw

## 今月の箱男

新年も2ヶ玉で迎えちゃいました^へさんEggEgg@Fw0Lr・Feb 11

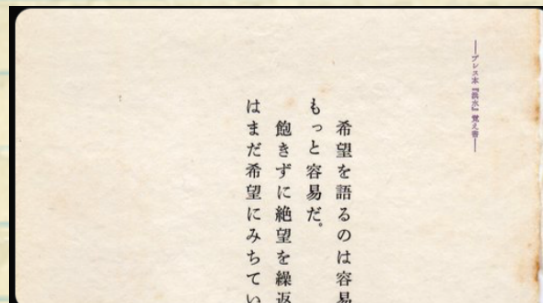
むかしはこのくらいでも結構コーフンしちゃったもんだが、もうオッサンなっちゃうとな〜こんくらいぢやぜんぜんコーフンしねーっす笑 安部公房箱男の一節



## 今月の絶望と希望

永田 誠@nagatamako・Feb 10

安部公房の言葉 雁皮紙本「洪水」より



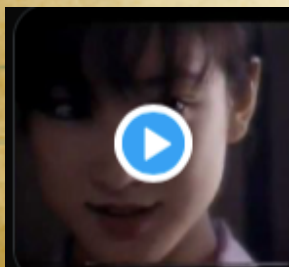
## 今月の箱男

Cat faceNecopandaPanda face@PackageFox

faceDeerPenguin@necopanda\_game・Feb 11

『箱男』安部公房／文學ト云フ事

[https://www.youtube.com/watch?v=tb1qVoM4gJs&feature=emb\\_logo](https://www.youtube.com/watch?v=tb1qVoM4gJs&feature=emb_logo)



### 『箱男』安部公房／文學ト云フ事

恋はあまりにも無垢だった。文学史上、最も先鋭なる前衛官能小説(アヴァンギャルド・ポルノグラ...

youtube.com



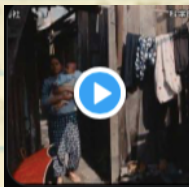
## 今月のおとし穴

ひつじの歩き方@s\_hituji.Feb 15

スラム 英映画社制作 1961年 <https://youtu.be/cHry5vBkHs4> via @YouTube

音楽が一柳慧と高橋悠治。ちょうど勅使河原宏・安部公房の映画『おとし穴』の演奏メンバー（『おとし穴』の作曲は武満徹）。

[https://www.youtube.com/watch?v=cHry5vBkHs4&feature=emb\\_logo](https://www.youtube.com/watch?v=cHry5vBkHs4&feature=emb_logo)



スラム 英映画社制作

作品概要製作：英映画社企画：大阪府・大阪市 京都府・京都市 兵庫県・神戸市1961年 カラー 33分軒なみ...

[youtube.com](https://www.youtube.com)

## 今月の公演

ルサンチカ@ressenchka.1m

安部公房【棒になった男】

テキストの意図された原文と、今回の上演で遊ぼうと思っている部分を面白おかしく大胆に構成を行なっています。常に佳境の制作環境を意識しながら、緩やかに10日後の上演を迎えようと思えます。皆様宜しくお祈りします。

<https://www.ressenchka.com>

# ルサンチカ

ルサンチカ

河井明が主宰、演出を行う演劇カンパニー。2013年旗揚げ。物事の色々をひとまず両手ですくい取ってみて、その時にこぼれ落ちた側に焦点を当てて作...

[ressenchka.com](https://www.ressenchka.com)

巻頭詩

(15)

黒いタンバリン

日本で初めての「男色者による詩」の読解

(前篇)

男色者の詩を男色者の詩として読む

ハート・クレイン

翻訳：岩田英哉

【原詩】

【表の題】

Black Tambourine

The interests of a black man in a cellar  
Mark tardy judgment on the world's closed door.  
Gnats toss in the shadow of a bottle,  
And a roach spans a crevice in the floor.

Aesop, driven to pondering, found  
Heaven with the tortoise and the hare,  
Fox brush and sow ear top his grave  
And mingling incantations on the air.

The black man, forlorn in the cellar,  
Wanders in some mid-kingdom, dark, that lies,  
Between his tambourine, stuck on the wall,  
And, in Africa, a carcass quick with flies.

【解説】

Hart Craneの詩作法と解釈

【表の題】 男色者の詩を男色者の詩として読む

【裏の題】 白い建物とブルックリン橋

1。Hart Craneを理解するための練習

(1) Black Tambourineを読む (第一詩集、White Buildingsから)

To Brooklyn Bridgeを読む前の練習として、まづBlack Tambourineを読みたい  
と思います。



この詩を読み、理解することで、To Brooklynbridgeの理解が容易になるようにと考えたものです。

これは、Hart Craneの最初の詩集、White Buildingsの中の2番目の詩です。

### Black Tambourine

The interests of a black man in a cellar  
Mark tardy judgment on the world's closed door.  
Gnats toss in the shadow of a bottle,  
And a roach spans a crevice in the floor.

Aesop, driven to pondering, found  
Heaven with the tortoise and the hare,  
Fox brush and sow ear top his grave  
And mingling incantations on the air.

The black man, forlorn in the cellar,  
Wanders in some mid-kingdom, dark, that lies,  
Between his tambourine, stuck on the wall,  
And, in Africa, a carcass quick with flies.

まづ詩集の名前、White Buildingsとはどういう意味でしょうか。

この題名の詩が、詩集の中にあるわけではありません。

White Buildingsとは題名がそのまま意味する通り、白い建築物です。一篇の詩を階層化して建築しているのです。つまり、Black Tambourineの例で行けば、

Black Tambourineは、全部で3連からなる詩、これを

2階（1、3）

1階（2、2）

として設計し、構築した詩が、Black Tambourineということになります。

実際には、後述するように、この詩は、その歌い方からいって、

1階（1、3）

地階（2、2）

という構造になっています。

先回りをすると、地階とは、地獄という意味でもある。舞台は、cellar、地下室であり、夜な夜な男色に耽る男色者の牢獄であり地獄です。（cellという同じ地獄、牢獄、監獄を意味する言葉が、やはり、To Brooklynbridgeにも出て来ます。）

辞書は、Merrian-Webster Onlineを使います。

この詩を訳してみましよう。普通に訳すと、こうなります。わたしは、表の訳と呼んでいます。普通に表面的に読んだら生れる読みのことです。まづ、第1連から。

The interests of a black man in a cellar  
Mark tardy judgment on the world's closed door.  
Gnats toss in the shadow of a bottle,  
And a roach spans a crevice in the floor.

【表の訳】

とある地下室に、ある黒い色した男が独り  
その男の興味と関心が、  
世界が閉じた扉なのか、それとも扉が閉じて世界を締め出したのか  
その扉の上に、遅れた（遅い）判決文をしるす。  
吸血の藪蚊共が、ある壇の影の中で、休み無く、行ったり来たり、登ったり降りたり、  
そして、一匹のゴキブリが、床の中のある割れ目に、身を伸ばして、架かっている。

しかし、これは一体、何をいつているのでしょうか。そう考えながら、裏の訳を試みてみましよう。

Hart Craneは、この詩の中にいつものように暗号を隠しています。あるいは、詩を暗号化して、裏の詩、すなわち男色者の喜びと悲しみを歌う詩としても読めるように書いています。

この詩の題名から見てみましょう。

Blackという色の名前がつけられている。

これは、詩集の名前であるWhite Buildingのwhite、この白と対極の、それゆえCraneの詩の中では、互いに相通じて最後には（浄化されて）反転してもう一方の意味になる、そのような黒、即ち罪深い、瀆神の、背徳の男色者の黒という意味です。

Whiteは、それに対して、浄化された、汚れの無い、男色の罪の赦されたという意味です。

それが、White Buildingの意味であり、そのような作品群がWhite Buildingsです。

詩をbuildingすることで、文字通りに垂直方向に言葉の建物を階層化して立てることで、更に、そうやって構築された詩が、男色者の罪を赦されるものとしてある、そのような祈りの詩とすることで、whiteになる男色を歌った詩、これがHart Craneの詩なのです。

Tambourineとは、同じ詩集の中の別の詩、Chaplinesqueで述べた、チャーリー・チャップリンの主人公がかぶっている黒い山高帽、black hatと同じものを指しています。あるいは、The Bridgeという別の詩集の冒頭にあるTo Brooklyn Bridge（このToは斜字体でなければならない。その理由は後述します。）、その詩の中の3連目の最後の行に、the same screenと歌っているものと同一の物、男色者が使用する性具です。

それは、何かタンバリンのような形をしていて、あるいは山高帽のような形をしていて、円環の枠に柔らかな布をスクリーンとして掛けてある、そのような代物、男色者の性具。これをどのように使って、そこから複数の男が快樂を引き出すのか、わたしは一寸想像が難しいのですが、しかし互

いに役割を演じ分けて、ホストとゲストになって、それぞれサービスを提供する側と享受する側になって、互いによるこびを分ちあうのです。

同じWhite Buildingsの中にあるChaplinesqueという詩を読みますと、その場合に、往々にして、男色者は、自らを中世の騎士に喩えて、その役割を演じ、ということは、ゲストになり、ホストである貴婦人からの、性的にはどういふものかはわからないが、褒美をもらうという、そのような劇を演ずるのです。このように、男色者たちの性行為の世界は、非常に高度に洗練された文化の世界です。

(Chaplinesqueとは、そのまま表面的に読めば、チャップリン風とかチャップリン様式という意味ですが、Craneは掛詞と縁語の名人です。裏の意味では、Chaplinesqueは、Chapline's queの意味で、真っ黒な男色の罪に汚れた男色者達の肛門性交の列、肛門性交の数珠つなぎという意味です。

このようにCraneの詩の題名には必ず男色の意味が掛けられ、隠されています。詩そのものについては、言うまでもありません。Black TambourineやChaplinesqueは、ほんの一例です。)

さて、Blackという色は、そのような色だとして、実はCraneは、それ以外に、whiteは勿論のこと、purple、gold、green、violet、amber、grey、sapphire、red、pink、blueなどという色彩を詩の中にちりばめていて、天体の場合と同様に、ここにも色に関するCraneの創造したシステムがあるものと思われまふ。Amberやsapphireは、色彩ばかりではなく、もうひとつある鉱物の名前のシステムと踵を接する色彩語だと思ひます。これらの言葉の体系については、また後日探究することにしたいと思ひます。

さて、いよいよ男色詩人の詩を男色者の詩として読むことに入つて参りたいと思ひます。

最初に理解してもらいたい記号、暗号は、アルファベットのAという文字の意味です。

Merrian-Webester Onlineから以下にひきます。

## Definition of A

- 1 a : the 1st letter of the English alphabet
- b : a graphic representation of this letter
- c : a speech counterpart of orthographic a
- 2: the sixth tone of a C-major scale
- 3: a graphic device for reproducing the letter a
- 4: one designated a especially as the first in order or class
- 5 a : a grade rating a student's work as superior in quality
- b : one graded or rated with an A
- 6: something shaped like the letter A
- 7 capitalized : the one of the four ABO blood groups characterized by the presence of antigens designated by the letter A and by the presence of antibodies against the antigens present in the B blood group

この引用の定義の6番をご覧ください。

大文字のAに形状が似たものをAで表すとあります。

結論から申しますと、アメリカの男色者は、このAを、人間が前屈みに腰を折り、そして尻を上げて、肛門性交のための姿勢をとる、そのような男色者のポーズとして使っているのです。

このAを想起させる言葉であれば、それはすべて男色の、男色者の、そのようなポーズを裏で意味することになります。

Craneが10代で書いた恐らく最初の詩、C33には、tentという言葉が出て来て、

And he tented with far truths he would form

という一行があります。

tentは、文字通りにテントを張るという意味ですが、その形状はAであり、それはそのまま男色の行為を意味するのです。

同様に、loft（屋根裏部屋）とかloftyという言葉もCraneの詩の中に出て来ますが、その形もAですので、同じ姿勢をとることを意味しています。（このloftという言葉も同じ意味で、To Brooklyn Bridgeにも出て参ります。）

そうすると、C 33の上の一行の表の訳は、

そして、彼は、彼が形作りたいと思つてつくつた遠い数々の真実でテントを張つた

ということになり、裏の訳では、

そして、彼は、彼が形つくりたい、世間とは際立つて異なる衷心から、尻を上げ、肛門性交のポーズをとつた

という訳になるでしょう。

(この詩を書いた10代のCraneは既に男色者であつたことを、この詩、C 33は意味しています。C 33という題名の裏の意味も興味深いものがあります。

この題名を発声すると、C33ではなく、C\_33ですので、See a space thirty threeとなります。A spaceが隠れています。男色者の空間、場所を見よという意味になります。

また、thirty threeは、この詩の中に出て来る、類似の発音としてある、Thorny treeにかかっています。棘のある木とは、男性のペニス、それも肛門に入つて来たペニスの感触のことです。ですから、この言葉は受け身の側の男色者の言葉です。See thorny tree、ちくちくする棘のあるペニスを見よという意味です。ですから、10代のCraneは、肛門にペニスを入れられた体験をC 33で歌っているのです。)

Aという文字は、辞書をひくと、またその複数形がAsであり、発音が尻の穴に同じであることから、このAを冠したことばには、そういう意味からも、男色者としての意味が掛けられています。

このAについての暗号としての記号の意味が、まづ最初に理解をしてもらいたいことです。

さて、大文字のAがそうであれば、当然のことながら、小文字のaもそうだ



ということになるでしょう。

そうして、Black Tabourineの中から、不定冠詞のaのついた名詞を拾いだし、列挙すると、次のようになります。

Craneの詩を解説するには、まづ英語の不定冠詞、aまたはanを探してみるのは、そうすると、次のようなものがあることに気がきます。

a black man  
a celler  
a bottle  
a roach  
a crevice  
a carcass

そうすると、

a black manは、文字通りに罪深き男色者  
a cellerは、男色者の地獄、秘密の場所  
a bottleは、その形から、男色者のペニス

a roachは、ゴキブリであるが、しかしcockroachということのcock、即ちペニスが無い、言わば男としては性的に無能力の、そのような男、男色者という意味です。

このように男色を意味する語を隠して顯すというやり方をCraneはよく行います。

詩集The Bridgeの中的一篇、Van Winkleという題も、本来ならば、Rip Van Winkleの筈ですが、敢えてRipという男色に関わる言葉を隠して題としているのです。

Ripとは、ペニスに歯を立てて快樂を与えると同時に、いささかの血も流れる位に傷をつけること。このVan Winkleという詩は、そういう男色の詩だよという含意をその題にこめているのです。

このRipもCrane好みの言葉で、To Brooklyn Bridgeの第1連にも、Ripplingと

して、また同じ詩の第6連には、Rip-toothとして出て来ます。

a creviceは、男色者の割れ目、すなわち尻の割れ目とその穴のこと。

a carcassは、Websterによれば、

- 1: a dead body : corpse; especially : the dressed body of a meat animal
- 2: the living, material, or physical body (I hauled my carcass out of bed)
- 3: the decaying or worthless remains of a structure <(he carcass of an abandoned automobile)
- 4: the underlying structure or frame of something (as of a piece of furniture)

とあることから、性的快楽の絶頂を経験した後、死体のように横たわっている男色者のことか、あるいは、そもそも男色者が人間としては、男性の能力もなく、さながら生ける屍だという意味です。

そうするとこの詩の訳と解釈は、次のようになります。第1連から見て見ましょう。

#### 【裏の訳】

The interests of a black man in a cellar  
 Mark tardy judgment on the world's closed door.  
 Gnats toss in the shadow of a bottle,  
 And a roach spans a crevice in the floor.

男色の罪に穢れた男色者が秘密の場所、地獄か地下牢ともいうべき場所に  
 いる。

男色者の興味は、世間から閉め出された、あるいは男色者が世間に対して  
 締めて閉ざしたドアの上に、遅い判決を書きしるす。

ペニスの蔭で、蚊がさすような微妙なトス、ペニスを下から上へと

快楽を感じるように撫で上げる、そのことよ。そうして、

ペニスは、大きくなって、この地獄のフロアで

男色者の尻の割れ目に突っ込んで、目一杯鰓（えら）も張り出すのだ。

#### 【解釈と鑑賞】

男色者達は、快楽をむさぼり終わるごとに、ドアに回数を書き、そのよ

かった程度を何らかの印で書きしるしたものなのではないだろうか。それは、快樂の余韻を味わうのに忙しく、点数を書きしるすのは、つまり、判決を書く事は、それよりも遅れてしまうのだろう。

判決と訳したのは、Chaplinesqueにおいて、男色者の性的行為を歌った中に、

our obsequies are, in a way, no enterprise.

とあるからです。

Chaplinesqueを読むと、我々男色者の世界の死刑執行は、男色者の流儀で、やりかたで(in a way)、ビジネスなのではなく、利害打算のない純粋なものであり、そのような形で男色者は性交の一回毎に、死ぬのだと知っているからです。

このobsequies（死刑執行）は複数でもありますから、実際に、男色者の裁く側がいて、相手が絶頂のときに、死ぬとか、死刑だとかいうのだと理解することができます。

Tossは、Craneの好みの言葉、他の詩でも出て来ます（たとえば、同じ詩集のSunday Morning Appleの第5連の1行目）。

大きく膨張した状態の龟头を林檎と呼んでいます。

また、林檎Appleを、A peopleのneumonic（母音を約した縮約形）にして、男色者達という意味に掛け、その林檎をtossすると歌うのです。

林檎をトスするとか、わたしの林檎をトスしてくれと、実際に男色者達は性行為の最中に、そう言葉として使うのだろうと思います。

次に、第2連を見て見ましょう。

Aesop, driven to pondering, found  
Heaven with the tortoise and the hare,  
Fox brush and sow ear top his grave  
And mingling incantations on the air.

これも、表通りで、普通に読むと、本当に何を言っているのだろうと思うような詩です。

#### 【表の訳】

イソップは、何かに駆られて沈思黙考しているうちに、亀と兎のいる天国を見つけたが、狐の尻尾と牝豚の耳が、イソップの墓穴を頂点にもってゆき、そうして空気に触れて呪文を混ぜる。

#### 【裏の訳】

イソップ（男色者）は、尻を上げてAのポーズをとっているが、強いられて心の中で静かに味わっていると、兎と亀の天国、すなわち感じてはやく行くのが勝ちなのではなく、行くのが遅い方が勝ちなのだというお話通りの天国を発見するし、狐の尻尾のブラシと牝豚の耳で、イソップが快感の絶頂で死に到るように感じさせる。周りで、行くのがもっと遅くなり、絶頂感が長く続くようにという呪文を、実況中継して、そこに混ぜ入れながら。

#### 【解釈と鑑賞】

Aesopとは、これもCrane好みの言葉で、最初から仕掛けがあります。

このイソップという童話の作者の名前をひっくり返すと、Pose A、即ちAという尻を上げた姿勢をとる、その姿勢という意味になるからです。

また、イソップは、アフリカ生まれの黒人であったという説があり、それが念頭にあって、Craneは、この詩を書いています。それは、第1連にあるa black manに始まり、第3連にあるAfricaに到るまで、そうです。黒い色が何を意味するかは、上述の通りです。

表の訳の方に無理があって、表の訳を考えていると、そのまま裏の訳に到る。表裏不可分という感じが、訳していると、します。

狐の毛でできたブラシと牝豚の耳というのは、膨張したペニスには、特に

優しく、感じやすくさせるものなのでしょう。だから、そのときの呪文とは、すぐ行かずに、もっと長く持ちますようにという、そのようなおまじないの言葉です。

兎と亀の話は、イソップの有名な話ですが、ここでは、速い兎が負け、遅く行く亀が勝ちという結末から、先に行ったら（射精したら）負け、遅く行った（射精した）方が勝ちという、そういう話を、性行為の最中に、周囲の男色者達が実際に、そういつて囁いていることをいつているのだろうと思います。

On the airは、Craneの色々な詩によく出て来る言葉ですが、結局、これは、性行為をしているふたり（あるいは、もっと多くの複数人）の周囲にいる他の男色者達が、その行為を見ていて、実況中継をしているととることが、一番自然のように思うので、そのように訳しました。

mingling incantations on the airを、そのまま普通に訳しても、全く何を言っているのか、わからないことでしょう。

最後に、第3連を見てみましょう。

The black man, forlorn in the cellar,  
Wanders in some mid-kingdom, dark, that lies,  
Between his tambourine, stuck on the wall,  
And, in Africa, a carcass quick with flies.

#### 【表の訳】

その黒人は、地下室にひとりになって、  
壁にかかっている彼のタンバリンと  
アフリカにあつて、蠅がたかっている  
死んではいない体との間にある、暗い  
或る中間の王国をさまよう。

#### 【裏の訳】

男色の罪にけがれた男は、地下牢の、地獄の中で

孤独なまま、自分のものだといいたい、前位置に壁のように立っている男のそのタンバリン形の性具と、それから、何度も行きそうになりながら、まだ絶頂にまで行かずに、従ってまだ生きていて死んではいない、射精をこらえている男色者、肛門性交に至らない男色者との間にある男色者の中間の王国をさまよっている。

【解釈と鑑賞】

someは、Websterによれば、

Etymology:

Middle English som, adjective & pron., from Old English sum; akin to Old High German sum some, Greek hame • somehow, homos same - more at same

とあることから、Craneは、homosという語源、語釈にホモの意に掛けて、この語を使っています。Sameも同じ使い方をしてしています。

ですから、Craneの詩の中に、someやsameという言葉が出て来たら、それは例外なく不定冠詞のaと同じ意味を持たせているのです。

このsomeやsameは、To Brooklyn Bridgeにも頻りに出て参ります。

従い、some mid-kingdomとは、男色者、同性愛者の中間の王国という意味になります。しかし、中間の王国とは何でしょうか。

男色者達が、性行為をしているときに、中世の騎士物語を演じるということは、上に書いた通りです。ですから、some kingdom、男色者の王国なのだと思います。

しかし、mid-とは何か。これは、Craneが、To Brooklyn Bridgeにも出て参りますので、そこで詳述しますが、また別に男同士の性行為の様子を、太陽系の星の運行に喩えていたことを考えて下さい。

そうすると、3つの星があつて、この穢れた罪深い男、黒い男は、太陽、

地球、月のうち、まん中の位置にいると考えることができます。

いづれにせよ、太陽は動かぬ位置にあり、地球は太陽を周回し、月は地球にいつも表だけを見せて自転せず、尻を向こうに向けたままの位置にいる星です。

(太陽の位置にいる男は、支配者であり、自分の前に列をなす、肛門性交の男色者達に号令を掛けて、リズムをとり、前に後ろに、右に左に、男色者達にステップを踏ませて、その性行為を宰領するのだということが、To Brooklyn Bridgeを読むと、よくわかります。

男色者は、Chaplinesqueのqueのことを、即ち、男色者達の肛門性交の数珠つなぎのことを、また別名の暗号でbridge、橋と読んでいます。)

この男の位置は、地球であると、しておきましょう。太陽のペニスをくわえ、尻には月のペニスが入り込んでいる状態、それが、wander in some mid-kingdomということだと思えます。

また、Wallとは、

something resembling a wall (as in appearance, function, or effect); especially : something that acts as a barrier or defense

ということから、太陽の位置にいて、突っ立っている男のペニスに被さっている性具と解釈します。その性具の役目は、地球の位置にいる男色者の舌や手の刺激から、早く行ってしまおう(射精する)ことを、なるだけ遅くすること、即ち、something acts as a barrier or defenseという意味です。

Africaとは、何故アフリカなのでしょう。これもこの語を深く調べてゆくと、

continent of the eastern hemisphere S of the Mediterranean & adjoining Asia on NE area 11,677,239 square miles (30,244,049 square kilometers)

とあり、実は、ここにあるcontinent (大陸という意味に普通はいうもの)

を、更にcontinentを調べると、Craneは、contenanceということから、

self-restraint; especially : a refraining from sexual intercourse

という意味をAfricaという言葉に隠しているのです。

セックスを我慢するという意味です。

そう思ってみると、AfricaにもAという文字が入っている。だから、アナル・セックスを我慢するという意味になる。

このように考えて来ると、

And, in Africa, a carcass quick with flies.

とは、何度も行きそうになりながら、まだ絶頂にまで行かずに、従ってまだ生きていて死んではいない、射精をこらえている男色者、肛門性交の完成に至らない男色者という意味になる。

Fliesを、

a brilliant, imaginative, or unrestrained exercise or display (a flight of fancy)

ととることもできると思います。

さて、こういうわけで、表の訳と裏の訳を、それぞれ並べて、この第1章の、Hart Craneを理解するための、まとめと致します。

### 【表の訳】

とある地下室に、ある黒い色した男が独り

その男の興味と関心が、

世界が閉じた扉なのか、それとも扉が閉じて世界を締め出したのか

その扉の上に、遅れた（遅い）判決文をしるす。

吸血の藪蚊共が、ある壇の影の中で、休み無く、行ったり来たり、登ったり降りたり、



そして、一匹のゴキブリが、床の中のある割れ目に、身を伸ばして、架かっている。

イソップは、何かに駆られて沈思黙考しているうちに、亀と兎のいる天国を見つけたが、狐の尻尾と牝豚の耳が、イソップの墓穴を頂点にもってゆき、そうして空気に触れて呪文を混ぜる。

その黒人は、地下室にひとりになって、  
壁にかかっている彼のタンバリンと  
アフリカにあつて、蠅がたかっている  
死んではいない体との間にある、暗い  
或る中間の王国をさまよう。

#### 【裏の訳】

男色の罪に穢れた男色者が秘密の場所、地獄か地下牢ともいうべき場所にいる。

男色者の興味は、世間から閉め出された、あるいは男色者が世間に対して締めて閉ざしたドアの上に、遅い判決を書きしるす。

ペニスの蔭で、蚊がさすような微妙なトス、ペニスを下から上へと快楽を感じるように撫で上げる、そのことよ。そうして、ペニスは、大きくなって、この地獄のフロアーで男色者の尻の割れ目に突っ込んで、目一杯鰓（えら）も張り出すのだ。

イソップ（男色者）は、尻を上げてAのポーズをとっているが、強いられて心の中で静かに味わっていると、兎と亀の天国、すなわち感じてはやく行くのが勝ちなのではなく、いくのが遅い方が勝ちなのだというお話通りの天国を発見するし、狐の尻尾のブラシと牝豚の耳で、イソップが快感の絶頂で死に到るように感じさせる。周りで、行くのがもっと遅くなり、絶頂感が長く続くようにという呪文を、実況中継して、そこに混ぜ入れながら。

男色の罪にけがれた男は、地下牢の、地獄の中で孤独なまま、自分のものだといいたい、前位置に壁のように立っている男のそのタンバリン形の



## もぐら通信

性具と、それから、何度も行きそうになりながら、  
まだ絶頂にまで行かずに、従ってまだ生きていて  
死んではない、射精をこらえている男色者、  
肛門性交に至らない男色者との間にある  
男色者の中間の王国をさまよっている。



## 周辺飛行

(39)

## 3. 『周辺飛行』について (21)

## アリスのカメラ

周辺飛行 37

岩田英哉

『アリスのカメラ』と題した此の周辺飛行で、安部公房は次のやうに話を始めてみます：

「ぼくにとって、カメラは、いまや仕事の上で欠かすことの出来ない道具の一つである。小説のためのメモ用から、芝居の演出記録まで、用途はかなりの範囲にわたっている。さらに最近では、舞台の上で実際に使うスライドの撮影をしたり、「箱男」の中に自作のスナップを挿入してみたり、写真そのものを発表することも珍しくない。技術のことはともかく、カメラの使用度に関するかぎり、セミ・プロ急と言ってもよさそうだ。」(全集第25巻、201ページ上段)

安部公房のカメラは、満洲帝国の奉天にゐた子供の頃から、父親の安部浅吉がカメラ好きであつたことから、カメラの焦点の絞りやシャッター速度の調節や暗室に籠つてネガフィルムを焼き付ける技術までを習得してゐて、実際に此処で述べてゐるやうに『箱男』に自作の写真を8枚挿入してゐる。ですから、上の引用で「カメラの使用度に関するかぎり、セミ・プロ級と言ってもよさそうだ。」とあるのは、相当控へ目なもの言ひ方です。

しかし、この一見控へ目に見えるので私が控へ目と書いた此の冒頭の囲碁でいふなら初手の石の置き方は、他のカメラ好きの物神崇拝の単純なカメラ・ファンとは違ふのだといふことをいふための布石であることが、次の段落を読むと判ります。安部公房のカメラは物神崇拝ではない。即ち、所有することに価値があるとしてカメラを所蔵して集めることに汲々とするやうな俺はマニアではないといひたいのですし、実際この後の文章は此の論旨の展開が続き、どこで此の話の転換がなされるかといふと、それが、これも前回の周辺飛行でもお話した通り、topologicalな転換点で必ずいはれる安部公房の決め科白の出るところです。

「カメラの何が、こうまで人々をひきつけるのか。人々にとって、カメラとは一体なんなのか。

むろん、誰もがかならずカメラ好きだとは限らない。

さて、ここから先の安部公房の論述の展開を解題の表としてまとめましたので、これをご覧ください。ダウンロードは：<https://docdro.id/PdgiUOt>

	2021/02/08			
	Eiya iwata	『アリスのカメラー周辺飛行37』の解題表		
安部公房にとつてのカメラと写真の意味	第三者2	カメラを巡る当事者		第三者1
	セミ・プロ：安部公房自身のこと	優位	劣位	プロのカメラマン
	本物のカメラ好き＝マニヤ	カメラ好き	写真を撮つてみたいと思ふ人間	カメラは作品を金銭に換へる道具である
	空想・幻想崇拜（これは安部公房の言葉ではない。整理のための筆者の言葉）	物神崇拜		
		手段であるカメラの目的化		
		現代の精神状況		
		カメラは「空想」の道具である	カメラは「空想」の道具である	
		後になると「いったい何を期待して、あの眩しシャッターを切ったのか、思い出すことさえももう不可能だ。」（傍線は原文傍点）	後になると「いったい何を期待して、あの眩しシャッターを切ったのか、思い出すことさえももう不可能だ。」（傍線は原文傍点）	
何故安部公房はカメラが好きかといふ理由	「本物のカメラ好きは、シャッターを押してすぐに結果の分るポラロイド・カメラなんかには最初から見向きもしない。」 「マニヤがカメラに求めているのは、単なる実用主義的な現実ではなく、むしろ空想なのである。」 「シャッターを押すことで、世界の部分を手に入れる手形にサインをしたつもりになれる、その瞬間の自己欺瞞がたのしいのだ。」	「彼等の願望は、シャッターを押すだけで満たされるから、結果にはそこだけではない。」 「シャッターを押すことで、世界の部分を手に入れる手形にサインをしたつもりになれる、その瞬間の自己欺瞞がたのしいのだ。」		
何故安部公房が1970年代以降の小説の最初にネガフィルムを配置するかといふ理由（『箱男』『密会』『方舟さくら丸』）	「カメラが本来持っているはずの、現実指向を逆にとり、結果を無視することで、現実を拒絶しようとしているのかもしれないのである。そうするとカメラは存在しないもののシンボルになる。」→アリスのカメラになるといふこと→カメラの意の向かうの写真は「現実のネガになる。」			
何故安部公房がルイス・キャロルが好きであるか、何故『S・カルマ氏の犯罪』が『不思議の国のアリス』に触発されて一気呵成に書かれたかの理由	『不思議の国のアリス』の作者ルイス・キャロルが晩年カメラに凝つてアリスのモデルになつた少女の写真撮影したことについて：「あの小説は、それなりに一種の恋愛小説だったことになる。現実の女性のかわりに、存在しない少女を愛してしまったのだ。そして、たぶん、存在しない少女のポートレートのために、カメラ好きになつてしまったのだらう。」			
戯曲『緑色のストッキング』との関係	「考えてみると、いま稽古中の『緑色のストッキング』（十一月・紀伊國屋公演）の主題にも、どこか、カメラ好きにとつてのカメラに通ずるようなものがあるようだ。直接カメラが出てくるわけではないが、存在しないものためにシャッターを押そうとする衝動が、ドラマの構造になっているような気がするのだ。たとえば、主人公の着替室を、そのままカメラ・マニヤに置換えることも可能だろう。本質がフェチズムであることに変わりはないわけだ。一種の「部分愛」であるという点でも、共通しているかもしれない。」			

この表にある論理を簡単に説明すると、右でもなく左でもない第三項を求める安部公房の超越論ですから（まあ、超越論とは因果律を超越してゐるので、別に安部公房に限らないわけですが）、上の表の論旨も読者には次のやうに分かりやすいものです。

世にあるカメラ好きにも、カメラを巡つては二種類あるが、私は其のいづれでもない、即ち「カメラ好き」でもなければ「写真を撮つてみたいと思ふ人間」でもない。何故なら、自分はセミ・プロだからだ。セミ・プロとプロの違いは何かといへば、それは対価をもらふかわらぬかである。自分は対価をもらはぬからセミ・プロなのであり、事実上、それは「対価をもらはぬプロ」のことだと実は安部公房はいつてゐるに等しいのです。文字ではさうは書いてゐないが、行間の心はさういつてゐる。それほど安部公房はカメラが好きであつた。

ですから、写真の賞の審査員をしたり、各種カメラの批評文を実にプロ級の作家として書いたりしたのです。もぐら通信では、次の記事と号数に写真家としての詩人安部公房の掲載があります。挙げてみると、随分な数になりました。

1. 『もぐら感覚5：窓』：岩田英哉：もぐら通信第3号：<https://docdro.id/yuoZ44L>
  2. 『安部公房の写真』：marmotbaby：もぐら通信第5号：<https://docdro.id/XCeMdTb>
  3. 『続 安部公房の写真』：marmotbaby：もぐら通信第7号：<https://docdro.id/qV6nMoS>
  4. 『安部公房の変形能力13：ルイス・キャロル』：岩田英哉：もぐら通信第14号：<https://docdro.id/asuuLu6>
  5. 『箱男』論～奉天の窓から8枚の写真を読み解く～』：岩田英哉：もぐら通信第34号：<https://docdro.id/nbqdlam>
  6. 『カメラに首ったけ 趣味だと思っていました』：安部ねり：もぐら通信第37号：<https://docdro.id/zbVGLqJ>
  7. 『安部公房の写真について1：卒業論文レジュメ』：熊谷良樹：もぐら通信第38号：<https://docdro.id/XyFwkIm>
  8. 2 [全集未収録資料]：『EEを使ってわが町一調布』（1963年7月）：安部公房：もぐら通信第60号）：<https://docdro.id/Sv4sTlO>
  9. 『「安部公房の写真」とは何か』：岩田英哉：もぐら通信第62号：<https://docdro.id/euODbax>
- オート・フォーカス・カメラ時代 安部公房が新型4機種を診断：1980年5月号の日本版PLAYBOYもぐら通信第87号：<https://docdro.id/aqF8Sud>
10. 『テープレコーダーを持って—第1回PLAYBOYドキュメント・ファイル大賞選評』：安部公房の講評と採点表：岩田英哉：もぐら通信第92号：<https://docdro.id/Mr4uOFq>
  11. 「『周辺飛行』論（23）：写真のぞき周辺飛行20」：岩田英哉：もぐら通信第110号：<https://docdro.id/Pmck2OY>

上掲の解題表より結論部を抽（ひ）き出して、この周辺飛行の締めとします。

1. 何故安部公房がルイス・キャロルが好きであるか、何故『S・カルマ氏の犯罪』が『不思議の国のアリス』に触発されて一気呵成に書かれ得たかの理由：  
『不思議の国のアリス』の作者ルイス・キャロルが晩年カメラに凝つてアリスのモデルになった少女の写真を撮影したことについての安部公房の言葉が、それを説明してある：「あの小説は、それなりに一種の恋愛小説だったことになる。現実の女性かわりに、存在しない少女を愛してしまったのだ。そして、たぶん、存在しない少女のポートレートのために、カメラ好きになってしまったのだろう。」

この言葉を聞いて読者が直ぐに想ひ出す登場人物は、アパートの管理人の娘（『他

人の顔』)、溶骨症の少女(『密会』)、垂れ目の少女(『カンガルー・ノート』)などがあるでせう。まだまだある筈。

## 2。戯曲『緑色のストッキング』との関係

「考えてみると、いま稽古中の「緑色のストッキング」(十一月・紀伊國屋公演)の主題にも、どこか、カメラ好きにとってのカメラに通ずるようなものがあるようだ。直接カメラが出てくるわけではないが、存在しないもののためにシャッターを押そうとする衝動が、ドラマの構造になっているような気もするのだ。たとえば、主人公の下着泥棒を、そのままカメラ・マニアに置換えることも可能だろう。本質がフェチシズムであることに変わりはないわけだ。一種の「部分愛」であるという点でも、共通しているかもしれない。」

### [附記]

全集の中で、安部公房が写真について言及してゐる言葉を引用して、後日の読者のための参照の資料としたい：

## 1。『共同体幻想を否定する文学』：古林尚とのインタビュー(全集第23巻)

「好きな作品『アリス』

安部 読んだことはありますよ。ありますけど、わりにあとですね。カフカといえば、ぼくの作品に『S・カルマ氏の犯罪』というのがあるでしょう。あれ、みんな気がつかないから、ぼくはわざと黙っていたんだけど、ほんとうという、あれを書くときに受けた影響というか、それは、やっぱりポーと、『不思議の国のアリス』なんだ。

古林 まあ、あれはカフカが下敷きだというのが定説になっていますからね。

安部 『不思議の国のアリス』というのがぼくは大好きでね。こんどの「ガイドブック」だって、そんなに強く意識していたわけじゃないけど、あとでよく考えると、やっぱり影響がある。あそこで部屋の中に前からいる女、彼女はアリスなんだ。あとになって自分で気がついて、ああそうかと思った。」

(全集第23巻、293ページ下段)

「安部 あれ[引用者：『不思議の国のアリス』のこと]を書いた時は、ほんとうにオートマチックな作業だった。何も考えずに。実はあれ、三日で書いたんだ。いまでも記憶しているけれど、三日間まったく一睡もしなかった。眠らないで三日がかりで、ちょっと信じられないぐらいのスピードで書きあげたんです。」

(全集第23巻、300ページ下段)

## 2。『写真のぞき——周辺飛行20』(全集第24巻、332ページ～334ページ)

- (1) 此処に、安部公房自身によるニュートラルといふ演技概念の説明がある。
- (2) これは、そのまま安部公房の存在概念の説明になつてゐる。
- (3) 上記(2)は当然に、言語・言葉との関係で、沈黙といふことの説明にもなつてゐる。
- (4) 読者には、以上のことに深く関係してゐる初期安部公房の22歳の論文『詩と詩人(意識と無意識)』をお読みになることをお勧めします。
- (5) 古林尚との上記引用に関して、作者自身による「ガイドブック」に関する説明がある。
- (6) 俳優たちに指導した「写真のぞき」ゲームに関して、「観察と表現の一致」に関する作者の言葉がある。これは、詩と詩ではないものを認識するリルケの能力について語つたことと同じことを、カメラと写真のシャッターを押すことに置き換へて語つたものです。安部公房にとっては、言語表現といふ行為とカメラで撮影するといふことは同じ価値を持つてゐました。このことが、言葉は少量ですが、読者の理解するに資する文章です。リルケについて語つた安部公房の言葉の解釈については「周辺飛行36—阿波環状線の夢」(もぐら通信第127号)をお読み下さい。

### 3. 『安部公房との対話』：ナンシー・K・ハーディイングとのインタビュー (全集第24巻、471ページ下段～474ページ)

「—『箱男』の話題が終わる前に、作品中に挿入された八枚の写真についてなにか話していただけませんか。

安部 あの一連の写真は一種のモンタージュです。説明するのは難しいですね。  
(略)

安部 [引用者：写真の下に付された] 説明文は必ずしも写真を説明しているのではありません。それらの詩が主張していることがあるとすれば、ぼくが写真は全体として詩であるべきだと思つてゐるのです。」

この後に前回の「周辺飛行36—阿波環状線の夢」(もぐら通信第127号)で引用したリルケの詩と詩ではないものを見分ける認識能力についての発言が、それからポーについての発言が、続いてゐます。



二十一世紀の日本文学のためのスケッチ・ブック

Part I

塔の文学

(10)

目次

Part I 塔の文学

1. 森鷗外の塔と夏目漱石の塔
2. 江藤淳の塔と三島由紀夫の塔
3. 三島由紀夫の塔と安部公房の塔
4. 安部公房の塔と埴谷雄高の塔
5. 小林秀雄の塔と安部公房の塔
6. 安部公房の塔と大江健三郎の塔
7. SF文学史を伝統的な日本文学史に上位接続 (conjunction) する
  - 7.2 一体二つの文学史はいつ何処で上位接続して一体となったのか
    - 7.2.1 何故川端康成は安部公房の『壁』を芥川賞に推したのか
    - 7.2.2 「安部公房の読者にしか書けない『美しい星』論」から引用して、二つの文学史の同時代性の重なるの文学的な潮流を吟味する
  - 7.3 ヨーロッパの近代小説とは一体何であつたのか？
  - 7.4 そもそも日本文学に云ふ小説とは何か
8. 安部公房の塔と倉橋由美子の塔
9. 夏目漱石の塔 (F+f) と安部公房の塔  $\neg(F \times f)$

Part II 『文章読本』論

Part III 実践篇：小説『S・カルマ氏の逆襲』（英訳版・原題『The Fight Back of Mr. S. Karma』）：  
S・カルマ著〔翻訳〕岩田英哉

\*\*\*

7. SF文学史を伝統的な日本文学史に上位接続 (conjunction) する

前章の付番を誤つて8で始めてみましたので、ここで訂正をして親番号の8を7に、以下8を7に訂正して続けます。

この後に直かに日本の古代からの文学的伝統にあつて小説とは何かといふ問いに答へることをしようと思ひましたが、やはり次の問に答へねば其のことも明解に説明を伝えることができないといふことに思ひ至り、従ひまづ「ヨーロッパ小説とは一体何であつたか？」といふことを論じます。そして其の前に、日本の小説とヨーロッパの近代小説との起源・由来・縁起・由緒の全く異なることの大別を簡略にしてから本題に入りたい。



## (1) 日本の小説の起源

この起源は、川端康成のノーベル賞受賞講演『美しい日本の私』の最初に無意識にか此の作家が明恵上人の和歌について述べてある通り、和歌に付いた詞書にある。

## (2) ヨーロッパの近代小説の起源

この起源は、キリスト教会の告解室にある。

ともに、あなたには驚きの結論であると思ひますが、後者(2)については、私の確信です。もはや「正体見たり枯れ尾花」の正体も枯れ尾花も、二つの関係もよく知つてしまったので「ヨーロッパの近代小説とは一体何であつたのか？」と問題を過去形にしました。

これに対して確信はあるものの前者(1)については、此の後折口信夫博士の論文を元に吟味をし、真実と真理(共に英語ならばtruth・トゥルース)を極めたい。この場合、上記には和歌としましたが、これは大祓へなど祓詞または呪詞、あるひは祝詞といひ替へても良いものとお考へ下さい。歌ふもの、朗誦するものの総称として和歌と、ここでは呼んでをります。ですから、歌といへばよく、また歌謡といへば良いのかも知れませんが、現代語の意味を含んで意味の範囲が広くなりますので、和歌と呼ぶことにします。ですから、取り敢へず(取り敢へず、です)、5・7・5・7・7の三十一文字を思つてみて下さればよい。結局、世界的な舞台で日本の文学を考へるときには、川端康成の「美しい日本の私」に戻つて考へることが一番良いのです。お読みになるとわかりますが、あの川端康成の講演は、日本文学の精華を簡潔に語つたものであり、同時に自分の文学の本質を語つたものです。これを、他方、大江健三郎の冗長な個人的な政治的プロパガンダといふべき長すぎる講演と読み比べてみると、どちらに日本の文学があるかは明らかです。

最初に「(2)ヨーロッパの近代小説の起源」について述べ、次に「(1)日本の小説の起源」について述べます。これによつて私たちは、何もヨーロッパの近代の小説と我が国の近代の明治以降の小説を無理に比較する必要を失ふでせう。そもそも起源が異なるのですから。それを、さうであれば、どつちが良いとか悪いとか、その優劣を論じても仕様がな。文学スペクトラムも完成し、詩と小説の融合の歴史が明らかであり(これが起源の話)、また文明批評能力を備へた小説のための理論(安部公房のいふ仮説設定の文学)も明確になつた今、私たちは心置きなく二十一世紀の日本文学を語る事ができるのです。

この論考でも然り、他の論考でも然りですが、私が近代と呼ぶのはヨーロッパの17世紀以降二十世紀までの400年を云ひ、そして16世紀から20世紀までの500年を近世と呼ぶことにします。後者はスペイン人がインカ帝国を侵略した世紀から、前者はヨーロッパ域内で三十年戦争を始めて神も仏もあるものかとなつた世

紀からです。後者の世紀では神も仏もなくなつたので、哲学者であり数学者であり物理学者でもあるやうな多才能・範疇横断型バロック人間であるデカルトやライプニッツやニュートンやパスカルが登場した世紀です。後者17世紀は、ヨーロッパの主要な近代国家が世界中に植民地を作り始めた世紀です。アジアにイギリスが東インド会社の設立は1600年。日本では関ヶ原の戦ひの年です。この世紀はまた、このアジアでのオランダとイギリスの経済活動の国際的な本格化とともに、イギリスにイングランド銀行が設立された世紀でもあります。即ち、近代の資本主義が始まつた世紀です。この世紀の経済活動のあり方は今に至るまでの俗称グローバリズムの原因になつてゐます。この時代を文学は一緒に生きてきた、あるひは生き抜いてきた、といふことになります。私には、この近代の経済が断末魔の悲鳴を上げてゐるやうに見える。さて、この巨大な獣の悲鳴の中で、あなたは日本語に依つて如何に生きるべきか。21世紀はもはや近世でも近代でもありません。さあ、それでは、この世紀から以降の紀元に、私たち日本人は何といふ名前を付けて此れを呼ぶものか。あなたには、これを考へてもらひたいのです。この近世と来世の転換点は、2017年（平成29年）のアメリカ大統領にドナルド・トランプの就任した年です。これはしかし政治的な標識です。文学的な標識は国内外ともにどうも見当たりません。何故トランプといふ人間が此の転換点に立つかは後述するところで自然に理解されることでせう。アメリカ人であるトランプといふ男には深いキリスト教への帰依の心があります。

### 7.3 ヨーロッパの近代小説とは一体何であつたのか？

この起源は、キリスト教会の告解室にある。と上に書きました。この理由は次の通りです。

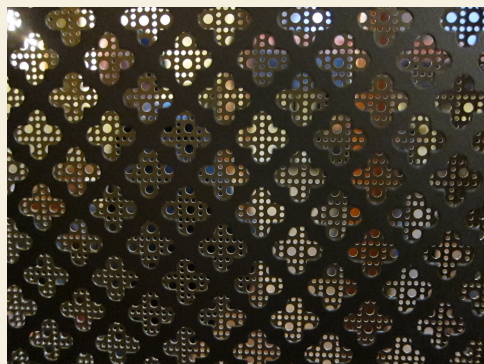
福田恒存訳の『ブラウン神父』ものの探偵小説があつて、創元推理文庫にあるもので学生の時に買って読んだものを未だに全ての冊数を大切に持つてゐます。この御時勢も御時勢であるとはいへ家に籠ることには全く平時と変はらぬ生活をしてゐるので、いい機会でありますからAmazonの映画配信サービスで連続TVドラマの番組として『ブラウン神父』を集中的に観たことで知つたことが、この章の設題の答へになることに気づいたので。それが、告解室の場面です。

村で殺人事件が起こる、ブラウン神父がゐる合はせてゐて警察署長と張り合ひながら事件の真相に至る。筋の運びに応じて、色々な、いつもの登場人物の他に、回によつて異なる人物も登場して話を面白く運ぶわけですが、殺人といふことから当然に罪と罰、罪と贖罪が主題として話の中に織り込まれることになる。さうすると、観てみると、何度か村人の中の誰かが勿論告解と普通には告白といふことのために教会を訪れて、罪の告白をする場面が出てきます。それは告解室と日本語に訳されてゐる小部屋で行はれる。しかし、小部屋に座つてゐるのはブラウン神父だけで、罪を犯したと告白に来る者は、男女を問はず、ブラウン神父に透彫の窓の向かうから告

白をして、さつと来てはさつと帰つて行くので、告白人は何か狭い空間にゐるわけではない。そして、告白の形式も定型があつて、まづ罪を何日前に犯しましたといつて話を始めることになつてゐる。恐らくは、二週間前の罪よりも三ヶ月前の罪の告白ですといふ方が、罪の罪状は重く、罪の告白は早ければ早いほど良いのだと察せられる。ブラウン神父は、密室にゐて信者に横顔を見せてゐるので、信者からは、暗い陰の中の横顔を見せた姿で、僧服を来て（しかも黒い服である）、信者の方を向かずに横を向いたまま信者に対して話を聞き答へを、神の代理人といふべき役目を務めるのです。真横を向いてゐるのですから、直接に正体（せいたい）して聴いてゐるわけではない。神の代理人ですから、信者の告白を神に伝へ、赦しと慰めの言葉を透彫の窓越しに信者に神からの言葉として伝えるのです。さうして、信者は告解室を離れ、教会を去つて、いつもの生活へと村の中に帰つて行く。これは村の話ですから、教会の正面の扉を出ると、少し離れて墓地があり、キリスト教式の墓石が立つて並んでゐます。

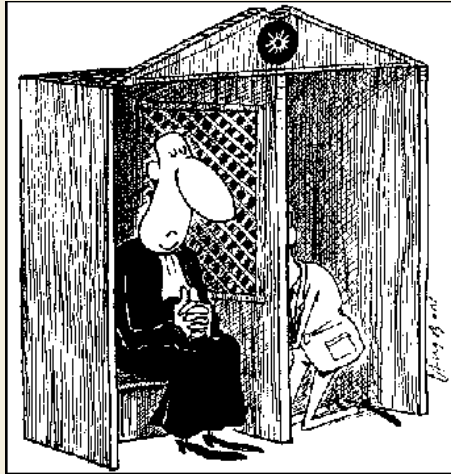
ブラウン神父には、勿論狭い村ですから、声を聞くだけで、その告白者が一体誰であるからはよく知つてゐる。しかし、透彫の窓のために顔や表情や服装はよく判らないといふことになつてゐる。村でブラウン神父が道で告白者に会つても、知らないふりをしてゐる。集まりがあつたりしても、それは知らないふりをお互ひしてゐて、何もなかつたことになつてゐる。これが、告解といふ今でいふなら個人情報の内の機密に属する情報についての暗黙の規則（ルール）であり、安部公房式にいへば此の規則は「公然の秘密」であり、土俗的にいへば風習である。これは法律ではない。それ以上の領域を覆つてゐる暗黙の、仮に宗教を離れたとしても、了解事項であり、さう考へれば、国や民族や宗教を問はぬ、世間に生きる人間の智慧である。

今ネット上で探して、私がBBC制作の『ブラウン神父』もので何度かみた透し彫の窓とは次のものが一番当のものによく似たものです。それから、ブラウン神父とは英語でFather Brownと呼ばれてゐるので、神も父、代理人である神父も神父に父とある通りに父親の立場として告白を聴くのです。父親は子供の罪を赦したり罰したりすることができる。母親は、さういふこととは無関係に存在してゐる。



## もぐら通信

漫画で、私のいふのと同じ告解室で信者の罪の告白を聴く神父の姿を描いたものがありましたので、更に掲示します。



36歳の懺悔をいたしますと告白者の老人は告白してゐるところを見ると、遅かりし由良之助である。それは神父の顔を見ても判りませぬ。



透かし窓を介した二者の見え方の感じは、このやうなものです。



さて、話は此処からです。

私がドイツ文学史なるものを学生の時に教はり、その教科書を読み、また折に触れて見る作家別の文章の紹介にはよく影絵（シルエット）を見ることがありました。これは十八世紀に活動してゐた作家に見られるものでした。これを不思議に思ひ今に至つてやつと謎が解けたといふわけです。ゲーテの横顔のシルエット（影絵）の例を挙げませう。



また、女性の（間違いなく恋人の）シルエットを見る若きゲーテを描いた絵画といふものもある。



これから述べるところによれば、この絵はなかなか意味慎重な絵なのです。この絵を見た人は、このシルエットの女性の名前を「公然の秘密」として知つてゐたに違ひない。しかも、これを絵にするわけですから、ゲーテのやうな有名人がかくあれば（ゲーテは男の鏡である、恋多き男であつた）、少なくともドイツ中で此の公然の秘密たるシルエットは男女の仲ならばこそ一層に共有された文化であつたに違ひない。さう考へて、隣のフランスを調べるとフランスも同様である。それらなど、ドーバー海峡で海を隔てたイギリスはどうかと調べるとイギリスも同様である。となれば、大体少なくとも西ヨーロッパには此の流行が上流階級にはあり、多分東ヨーロッパのスラブ諸国にも同様の流行が程度の差こそあれ、上流階級にはあつたであらうと推測することができます。即ち、

### ヨーロッパの近代文学の定義

ヨーロッパの近代文学とは、キリスト教を否定または離れてヨーロッパの人間の書いた文学であり、小説とは告解室の透彫の窓である。

といふことが、私のヨーロッパ近代文学と小説の定義なのです。この告解室を教会の外に持ち出したら次のやうなことになるでせう。

- (1) 神を主人公とはしない、人間だけの話となる。そのために、
- (2) 人は告解室の透彫の窓に相当する虚構の作り話を必要とする。唯一絶対神に告白するといふ心理的衝動は止み難く、抑制することができない。
- (3) 作家は告白者であるか、神の（しかし神を否定してゐる）代理人ならざる何か普遍性を備へたものの、透かし彫りの窓の向かうの代理人となる。しかし、
- (4) その代理人たる作り話の作り手は、告白者でなければ反対に、透かし彫りの窓を透過する社会の光にぼんやりと薄暗い横顔の誰とも判らぬ、権威の抛り所のは

つきりとしなない横顔の人である。

(5) その横顔は黒いシルエット（影絵）である。

(6) 黒い色からいつて、肯定的に見れば「公然の秘密」であり「暗黙の了解」の中にゐる人であり、作者であるが、しかし、

(7) 黒い色とは、普通に考へれば、そしてキリスト教といふ宗教の伝統と歴史と文化を否定すればするほどに、心理的には罪の色であることから免れない。

(8) この黒い横顔（影絵）の人は、自分であれ他人であれ、そのあり方を否定しようが肯定しようが、父親なのであり、神の代理人なのであり、男性の人格を有するキリスト教の神である。黒い色を、闇の色ととるか、罪の色ととるか、絶対的否定の色ととるか（しかも自分を否定するのか・自分がされるのか、神を否定するのか・神にされるのか）、あるひはこれら全ての逆の色と横顔を解して生きようとするか、それは作家次第である。即ち、横顔を強調するか、黒い色を強調するかといふことです。このやうな両極端の中にある様々な文脈で、結局近代ヨーロッパの作家たちの書いた小説は、聖書でいふ放蕩息子の話であり（安部公房の耽読したリルケの『マルテの手記』の最後を見よ）、放蕩息子を主人公にした藝術家小説なのであり、喪失した作家の父性を証明するために書かれた虚構なのです。自分と他人の、また自分と世の中の父性の証明のために虚構を必要とし、虚構を以て此れをした。この虚構を安部公房はもつと科学的に（topologicalに・位相幾何学的にといふべきであります）仮説設定の文学と呼んだ。これが、安部公房といふ偉大な作家の立つ二十一世紀の日本文学史上でSF文学史と伝統的な文学史との合流点の意義であり、『S・カルマ氏の犯罪』（1951年・昭和26年）と『美しい星』（1962年・昭和37年）の期間の後に来る二十一世紀の文学のあるべき姿なのです。

初期安部公房は『横顔に満ちた人』と題した椎名麟三論を書いてをります。安部公房は横顔といふ概念をリルケに学びましたので、リルケと同じ意味に横顔即ちprofileといふ意味を理解して、しかし安部公房流に此の横顔を椎名麟三のものとして、さういふ存在論の、自分と同じ存在を描いた作家として論じてみます（全集第2巻130ページ）〔註1〕。これで何故プロフィール（横顔）が個人情報集積であるかがお判りでせう。

〔註1〕

『横顔に満ちた人-安部公房の椎名麟三論-横顔と手と吸い込むことについて』（もぐら通信第64号）にて詳述しました。本文に該当する章の冒頭のみを引用します：

「4. 横顔とは何か「人の横顔をとらえるとは、一体どういうことなのだろう。あらためてそう考えてみると、奇妙なことには、それが単に横からみた顔というのではなく、一度眼を閉じて時間的にも空間的にも、方向から逸脱して見ることに思われてならない。そういえば、死んだ人や遠く離れている友の顔を想いうかべるとき、たとえ正面像であっても、僕らが考えているのはその横顔でないだろうか。別な言い方をすると、あらゆる角度にその横顔はひそんでいなければならない、またいる筈である。恐らく横顔とは、空間的な方向など問題にならぬものであり、時間を横に裁断した顔という意味なのだろう。」（傍線筆者）

これが、安部公房による横顔の定義です。上の段落から其の定義を抽出して様式化すれば、

横顔とは、空間的な方向など問題にすることなく、時間を横に裁断した顔である。

といふことになります。」

安部公房の学んだリルケの歌ふ横顔を『ドゥイーの悲歌』（第一部第23番）より拙訳で引用します。あへて此の文脈での細かな註釈は入れません。ご自分で想像してみてください。もしいふなら、何故子供を歌つてゐるのか、何故飛行機なのか、何故風なのか、何故横顔は数々あるのか、何故「横顔とは、空間的な方向など問題にすることなく（引用者：「純粋な方向」）、時間を横に裁断した顔である。」のかといふことです。：

「XXIII

O ERST dann, wenn der Flug  
nicht mehr um seinetwillen  
wird in die Himmelstillen  
steigen, sich selber genug,

um in lichten Profilen,  
als das Gerät, das gelang,  
Liebling der Winde zu spielen,  
sicher, schwenkend und schlank,

erst, wenn ein reines Wohin  
wachsener Apparate  
Knabenstolz überwiegt,

wird, überstürzt von Gewinn,  
jener den Fernen Genachte  
sein, was er einsam erfliegt.

【散文訳】

飛行というものが、もはや自分のためではなく、天の静けさの中へと昇って行くのであれば、そうして、それが、明るい横顔を様々にみせながら、風の好きな遊びをすることに成功した器具として、しっかりと、揺れながら、みめかたちよく遊ぶためであるならば、そうやって、ああ、初めて、

成長する器具たちのひとつの純粋な方向、彼方へ行くことが、少年の名誉心を凌駕するならば、そのとき初めて、

そうやって得るものに驚いて慌てて、遠い距離に近いあの者は、自分が孤独に飛行して到達して得るものになる。

【解釈】

このソネットは、前のソネットの速度と飛行の試みから、飛行機が歌われている。飛行機も詩になるのだ。

少年の名誉心を凌駕する、とは、少年が飛行機に魅了される様を言っているのでしょう。我を忘れて、飛行に見入ってしまい、魅入られる少年。

「遠い距離に近い」というリルケの発想は、いつもの言葉。既に何度も論じてきた通り、一番そばにいるものほど遠いところにいるというのがリルケの詩想でした。それを克服するために何をしなければならぬか。オルフェウスの変身は、そのためでもありました。

「遠い距離に近いあの者」とは、オルフェウスととっても良いし、それ以外の、ここで歌われている心性のひとつなら誰でもと理解してよいのではないのでしょうか。」

このやうにして、フランス人のルソーによる『告白録』または「『告白』（こくはく、仏: Les Confessions) は、1764年から1770年にかけて書かれ、1782年と1788年に死後出版された」 ([https://ja.wikipedia.org/wiki/告白\\_\(ルソー\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/告白_(ルソー))) といふことであれば、生前に刊行されなかつたことから見ても、世間に向かつて神父でもない不特定多数の大衆に向かつて（たとへ読者層・読書層に話を限つたにせよ）告白をし懺悔をするなどといふことは、実に破天荒なことであつたこと、ルソー自身が生前には此の個人情報の秘密の公開ができなかつたことを示してゐる。フランス革命は1789年です。これは非常にヨーロッパ近代文学の、従ひヨーロッパ近代史の、交通標識たり得る作品です。

告解室の透かし彫りの窓の持つ、社会と共有された公然の曖昧性（これが「公然の秘密」といふ意味）が虚構を必要とした。文藝評論家伊藤整の卓説を再掲します。伊藤整の分析と結論は正しい：

「この伝統的哲学山脈の欠落を前提にして、伊藤整がやはり小説家にして且つ批評家として書かざるを得ずして書いた『小説の方法』の中で名付けた作家のあり方が逃亡奴隷と仮面紳士です。前者は明治以降の日本の作家について、後者は近代のヨーロッパの作家についての命名です。これは文壇の成立を前提に狭い文学的世間で生きる、谷崎の言葉で云へば「セセコマシイ天地に跼蹐」する文士たちの生態の説明に有用な日本近代文学史上の作家およびヨーロッパ文学の作家の此れも生態に関する、彼我の文学を整理するための二分類です。

前者については「一般の日本の文士は逃亡奴隷であり、仮面の必要なく、執着する俗世的約束を持たなかつた」のは（俗世間からの逃亡奴隷）、「日本人は仮面を必要としない。フィクションなどは阿呆らしいのである」からであり、これに対して「ヨーロッパではさうでないらしい。燕尾服も手袋も必要だ。」モーパッサンが「紳士の服装をして社交界」に出入りする様子を称して、これを伊藤整は仮面紳士と呼んだ。「仮面舞踏会である。正直なものはいやになる。彼等にとっての現実とはフィクションである。紳士淑女がたの自由な社会の心理小説とはそういうものだ。（略）以上のようなものが、私が「小説の方法」と名づけたものの実体であ



る。つまり小説とは、散文芸術を通して、与えられた環境と気質の中で最もよくエゴを確立する方法と考えられる。私はそういうものとして日本と西洋との違いを理解した。」（傍線引用者）

一体、明治時代に田山花袋の書いた『布団』に始まる私小説の何が間違つてゐるといふのでせうか？田山花袋は文学的人生を抒情詩人として始めた。他の私小説の作家たちもほとんどの作家がさうであることが、中村光夫の名著『明治文学史』には詳しく書いてあります。そして興味深いことは、詩人も小説家も志す初期には、キリスト教に近づくのです。そして信徒になる。これは内村鑑三の影響も大きい。しかし、小説の道に本格的に入る段になると、キリスト教を離れます。これは誠に集合的にも、実に象徴的なことだと思はれる。見方を変へれば、これら私小説の作家たちは、キリスト教を離れることによつて、ヨーロッパの作家たちと同じ道を歩んだといふことがいへるのです。違ひは、私たちの文学的伝統は、和歌と文章は一つになつてゐたといふことであり、抒情詩である和歌（と説明上あへてさういひませう）と散文とは最初から一つであつたといふことです。

ですから、田山花袋が私小説と呼ばれる形で恋の告白をしたことは正しいことでした。これが新しい小説の祖形となつたことは正しいことでした。後世になつて、今度は小林秀雄といふ詩魂の持ち主が、親友である中原中也の恋人を奪つて、詩文と批評といふ散文を融合させた批評の世界を切り拓いたことも全く正しいことでした。恋を成就しなければ、私たちの文学は成り立たないのは、上は古代より天皇（すめらみこと）の御世から今に至るまで、これは和歌の伝統でありますから、そのまま私たちの小説の伝統でもあるべきことであつたし、実際にさうであつた。今でも変はらない。小林秀雄の偉業は、このやうな私たちの無意識の伝統的な文脈で達成された。安部公房の芥川受賞作『S・カルマ氏の犯罪』は、どんな意匠であらうが、S・カルマ氏とY子の恋の物語であり、恋の逃避行であり、死に至る道行の話である。三島由紀夫の書いた恋の話は皆悲恋であり、恋の悲劇であるが、しかし立派な伝統的な文脈で書かれた和歌の精神と詩魂の生きた小説といふ散文である。私たちの小説は詩魂を隠し持つてゐる。これら以外の他の作家たちの書いた恋の話も皆同じだと、私たちは理解して良いのです。ここに写実主義も、実証主義も、プロレタリア文学も、共産主義も、「純粹小説論」〔註2〕も、シュールレアリスムも、実存主義もへつたくれも何もないのである。皆、同じだ。これを、グロテスク・リアリズムの異化作用が現実の社会に発効することを期待して、大江健三郎にならつて（勿論ご本人はさうは言つてゐないが）、日本の近代文学は糞味噌文学だと言はう。さて、これで、海外から何が日本の国内にやつて来ても、みな糞味噌であることが明らかとなつた。確かに二十世紀の日本文学は糞味噌であつた。二十一世紀も同じである。

〔註2〕

純粹小説論は、川端康成と一緒に登場した横光利一の唱へた小説論ですが、当時も今も難解なやうに思はれて理解されませんでした。今こと此処に至つて読んで、この論考の文脈で理解することが容易にできます。これは本論考中に機会があれば、簡潔に要約して、その意義と欠陥を論じたい。

本を書き、出版するとは、都市の住人即ち市民のなせる業（わざ）である。これを考えると、伊藤整の仮面紳士といふ用語を今度は日本から欧米に輸出をしてやりたいといふ衝動に駆られる。さてしかし、日本の私小説の作家たちのなんと純朴で正直であることか。これに比べて、ヨーロッパの作家たちは、教会を出ると其のまま市場（マーケット）に直面する事になるのです。ここは物品が売り買ひされ市の立つ場所です。ここに、十六世紀のグーテンベルグのお陰で大量印刷物の複製が可能となつて生まれた出版業界があると思つてもらひたい。抽象的に考えれば、この市場（マーケット・イチバ）は日本も同じです。

これは、私がドイツへ行くと必ず立ち寄るハイデルベルクといふ中世の街並みをそのまま完璧に今に伝える（何しろ第二次世界大戦で連合軍が爆撃しなかつた。ここで大砲をぶっ放してハイデルベルクの美しい古城の倉庫の塔を壊したのはナポレオンの軍隊である。地獄へ墮ちろナポレオンめ！）、この古都の写真を以下に掲示して、実際の感じを知つて欲しい。ドイツ人は町を何度も幾つ破壊されても再建するのは、常に中世の街並みなのです。中世のといふ意味は、キリスト教の成期の街並みと云ふことです。間違つても、古代ギリシャやローマ帝国の街並みを復興させることはない。ドイツの一国の王が代々の神聖ローマ帝国の皇帝であつた歴史に鑑みてドイツ人の此の疑ふことのない中世都市の再建は、今の近代国家はヨーロッパではキリスト教の中世から生まれてあることを、これは証明してあります。幾ら、頭でつかりの学者や有識者たちが、古代ギリシャだローマ時代だと主張しようとも、そこには嘘がある。しかも、諸処既述の通り、この古代ギリシャとローマの遺産をヨーロッパ人に伝へたのは、アラビア文明のイスラム教の人たちである。キリスト教の中世を近世からみて暗黒時代と呼び、近世・近代の起源として「ギリシャ・ローマを自分たちの尊敬すべき古代として立てるのは、近代ヨーロッパのイデオロギーなのです」〔註3〕。ここに今に至るまでの近代ヨーロッパの中産階級の偽善があり、従ひまたマルクスに発しヘーゲルを経て、フランクフルト学派から今のアメリカの極左・共産主義への急激な傾斜の滑落に致るまでの、ポリティカル・コレクトネス（さすが漢字の本家「政治正確」と支那人は言つてゐる、私は日本人だからもつと漢字を正しく使つて政治不正確と云ふことができる）共産主義の偽善の原因があるので。これに騙されてゐて、日本人の日本語による糞味噌の文学は生まれません。もはや、ここまで彼を知り我をしらば、「GODを神と訳した間違い」〔註4〕を逆手にとつて、私たちは生きることができる。

## 〔註3〕

これは西尾幹二著『決定版 国民の歴史 上』（文春文庫）の「上巻付論、477ページ」に詳しい。

## 〔註4〕

これは西尾幹二著『決定版 国民の歴史 下』（文春文庫）の「17 GODを神と訳した間違い」43ページ以降）に詳しい。



聖霊教会と教会の隣接する市場（マルクト・マーケット）。市場には必ず泉がある。市役所も市場に面してゐる。この写真は市役所の高みから撮影したもの。



ハイデルベルクは、隣にネッカー河が流れ、反対側に山が連なつてゐて（この山には「哲学者の道」と呼ばれる散策路があつて、ゲーテやヘルダーリンや三島由紀夫の鍾愛せる天才詩人や私の好きなアイヒェンドルフなどが散策した道がある）、城壁がありませんが、平たい土地にできた都市は、次のローテンブルク・オブ・デア・タウバーのやうに城壁で四囲を囲ひ、多ければ東西南北に門があります。



城壁



### 【結論】

要するに、私は何がしたいかといふと、近代のヨーロッパの小説は全て告白の私小説であるか、または透かし彫りの窓である告白的私小説即ち虚構小説である。といふことが言ひたいのです。神を抜きにするからこんな偽善・偽悪的な告白録を書いたり（それは秘密にして神に託し、あの世に皆持つて行くべきものである。普通ならば恥を知れといふところでせう）、また見え透いた（ほら透かし彫りである）社交のための嘘をパトロンの膝もとで社交の術の習得とともに吐かねばならないのである（私小説作家のなんと清廉であることよ）。さうしてまた、評判を取れば大量に売れる大衆消費社会である。ルソーの告白

の後に、フランス革命といふ大事件の最中にマルキ・ド・サドが出たことは、もの事の順序から行つても然るべき順序であつたことが解ります。性愛の交換に関する告白が、それも懺悔ではない形式で、しかも公になされたならば、それはキリスト教の世界では一層格別の衝撃でありませう。神をも恐れぬ所業である。しかし、私たちに江戸時代以来の浮世絵の、あの江戸のイナセな男たちの陽物たる春画の、文字通りに隆々たる伝統と歴史と文化がありますので、こんな衝撃はないのです。私たちが驚くべきことが其処にあるとしたら、それは、キリスト教文化から否定的な形で絶望的に生まれ出た（絶望が希望であるとはなんといふ狂気であらうか）、人間自身に対する男女間での加虐と被虐よりなる自虐性でありませう。これを公に認めて行けば、社会が崩壊するのは当たり前ではないか。ここに私は一庶民である。今流行の共産主義・グローバリズムのLGBTとやらも（Qといふのが最後につく略号もあるらしいが、これはクルクルパーのQであらう）同じ線上にある。あれは性的な（彼らにですら暗黒と見える奇形の性愛の姿を）公然と見せたい承認して欲しい（マズローならば承認欲求といふだらう）といふヨーロッパ白人種たちの、信仰を喪つた、それ故にこれみよがしの、自虐性の姿である。

私たちのなすべきことは、そんなに罰して欲しいのであるならば、鞭を持つて喜んで彼奴等を鞭打つこと以外にはないであらう。かくある人間どもには人種の別なく男女の別なく国籍の別なく言語の別なく、お望みの通りにグローバリズムと共産主義の原理に忠実に従ひ、我が国の刑法を改正して、日本人の道徳に抛る公序良俗に反する場合には、イスラム教国のやうに鞭打ちの刑を定めては如何か。矢来の柵を囲つて、尻叩きの刑などの公開処刑を見世物として行ふのである。存在論横丁の御隠居や熊公八公も幕の内弁当や握り飯持参で御神酒も一緒に見物に行くことであらう。どうやら、こちらの方面から考へても、江戸時代といふ格上の時代に戻るのが良ささうである。さうすれば、天皇（すめらみこと）も王政復古などといふ付け焼き刃の当座凌ぎの、已む得なかつたとはいへ時代の応急処理の処方箋である公武合体政策を御解きになつて、京都にお帰りになつて本来の姿にもどつてのんびりとできやう。京都御所に遷都なされれば、政治家も自然に独立的な精神になり（何しろ物理的な近距離に天皇（すめらみこと）はゐないので京都御所に新幹線で足を運んで任命を受けることになるのだ、これで身分の上下が国内外の目にも一層事実として明らかにならう）、江戸はさむらひの府に戻ることになる。侍ではない政治家は、庶民の目は節穴ではない、見ればわかるから（知行合一の不一致）、選挙のたびに落選させれば良いのだ。さうすれば、自然に淘汰されて国会審議の日本語の質も高まることであらう。これは文化論であつて、政治論ではありません。

### 【蛇の足：snake feet】

このやうな話になると、想ひ出されるのは、畠山みどりといふ歌謡曲の歌手の流行歌で、私の子供のころ流行つた『恋は神代の昔から』といふ歌です。三番まである。

## もぐら通信

「恋をしましよ　恋をして  
浮いた浮いたで　暮らしましよ  
熱い涙もながしましよ  
昔の人は言いました  
恋はするほど艶が出る  
恋はするほど艶が出る」

(作詞：星野哲郎／作曲：市川昭介)

歌詞：<https://www.uta-net.com/song/13872/>

YouTube：<https://www.youtube.com/watch?v=RRo1cHcmqPA>

この方がずつと日本人らしくて良いのではあるまいか。本当に日本人は勤勉 (industrial) な民族なのであらうかと、この曲を思ひ出すと、さう疑はしく思はれる。

神代にポリコレ (political correctness・政治正確) などといふ馬鹿なものはないのである。この歌の歌ふ通りにセクハラもパワハラもモラハラも出つ腹もない。布袋さんの笑顔を見よ。日本の国にはハラで在るのは高天原だけである。常に間違へる政治といふものに自分の人生を合はせて一体どうするのだ。correctnessなど實際何処にもないだらう。アメリカにポリコレが流行するのは神代がないからである。アメリカ人はヨーロッパの中世に飢餓感といふべき渴望を心中密かに抱いてゐるが (ディズニーランドのあのシンデレラ城を見よーアメリカの優れた贗物性については一連のアメリカ贗物論で既述の通り)、中世から始まつた今のヨーロッパも同じだ。といふことは、今の世は中世に回帰しても問題の解決はなく、救ひはないといふことを、これら二つの地域の大騒擾は示してくれてゐる。中世以前の古代へと、神代へと戻るべきだと今の政治的・経済的・宗教的混乱は言つてゐる。これら三つを一言でいふと、人心の混乱である。フランス革命のツケを今頃払つてゐるわけである。我らにはどうでも良いことである。私たちに必要なことは、kamiyo correctnessである (この英語のcorrectnessの使ひ方が正しいかどうかcorrectかどうかは知らない)。かう考へると、やはり近代ヨーロッパは古代ギリシャと縁もゆかりもないことが判る。もしあれば、神代があるわけであるから、国民国家を忘れて国境をなくして移民や難民を受け入れ、偽善のフェミニズムが跳梁跋扈し、環境カルト宗教が流行することもなかつたであらう。全ては人間の行ふことであり、人間の犯す悪である。日本の神々が守銭奴であつたといふ話は聞かないし、古代ギリシャの神々に優れた守銭奴の神様がゐるといふ話も聞かないのは一体何故であらうか。以上のことから解ることは、これから諸国は分裂し、神代のある国は神代に回帰し、ない国は極度に衰退するであらうといふことである。人造国家は滅び、自然国家は栄えるといふことです。神話は滅び、神代は栄える。笑顔の無いハラ人間は滅び、笑顔のある太つ腹人間は栄える。(以下次号)

私の本棚

(34)

深田萌絵著『日本のIT産業が中国に盗まれている』を読む

岩田英哉

これは題名通りの内容で、中身の紹介をしても仕様がな。中身が濃すぎるからです。要するに、中国が日本のIT産業の技術を盗んでみて、日本の政府も行政府も確たる国家安全保障の考へを欠いてゐるために、私たち国民の生活と日本の国を非常な危険に晒し続けてゐるといふ事実を詳しく丁寧に書いた本である。文字通り買ふに値する本です。以下、私が学び知つたことのみを徹して続けます。本を買つて読んでください。

最初の「プロローグ 日本人にとって本当の戦いが始まった」計14ページを読むだけで、相当の情報の量と質が詰まつてゐて、これを土台にして読むと第一章から終章（第四章）までの内容が一層構造的に、今IT通信産業の世界で何か起きてゐるかを、中国共産党が1999年に『超限戦』の発表と同時に仕掛けて来てゐる戦争との関係で、より深く正確に理解することができて、あなたが日常ネットとマスのメディアに流通してあなたの手元にやつて来る情報の真贋を見極め、また独自に自分の頭で情報の評価を下すことに、大いに役立つ、これは良書です。

本当は啓蒙書と書きたかつたが、この此の語彙の選択に私の躊躇するところは、もはや18世紀的な啓蒙の速度ではIT技術と此の技術革新に因る時代の進展速度が早すぎて、著者の啓蒙書はそのまま告発書と呼ばねばならぬと云ふ性格の本にならざるを得ないところまで現実的な事態の進展は来てゐるといふことだからなのです。今や、啓蒙書は告発書になつてしまつた時代を私たちは生きてゐる。啓蒙しようとして事実を書けば、さうなる。ですから、学者である専門家が安全保障の一冊の本を書いて出版社から出したとして、たとへそれが啓蒙書であれなんであれ、書店の書棚に並んだ時には既に時代遅れの本になつてゐて、書いてある内容は既に現実の生活には、即ち私たち個人が一人一人我が身を安全保障するためには役には立たないといふことなのです。このことによく分かる、良い本です。この著者には別に『5G革命の真実』といふ本も書いてゐて、この時も私は著者の文章の持つ散文性の高さに驚きましたが、この本の略歴を読んで、ICチップ設計とICチップ応用解決策提案会社（これは私の造語）の経営者であることを知つて納得しました（本人はコンピューター・ソリューション開発企業の経営者と自らを呼んでゐる）。それにまた『5G革命の真実』を初めて読んだときに驚いた此の「女だてらに高い文章の散文性」は（これは褒め言葉である）、自筆の後書きを読むと高校生時代からブルーバックスを読むのが好きだつたとあつて、

実は此の著者は、これだけ思考論理性が高ければ、安部公房のよき読者となる筈です。どうか安部公房を読んでをくれ。本人は画学生であつたやうですから、その絵も非常に論理的な散文性の高いものかと想像します。しかし逆に非常に抒情性に富んだ絵かもしれない。かういふところが人間と藝術の関係の面白さです。本人はネット・メディアのチャンネルでは、私にはよく意味のわからぬ「ITビジネス・アナリスト」を名乗つてゐますが、その意味がよく分かつた一冊でもありました。この著者の本名は、不可思議萌絵といふのではあるまいか。とにかく著者のブログにある資格の名前を挙げると (<http://fukadamoe.blog.fc2.com>)、TOEIC 890、HSK 5級、証券外務員一級、内部監査員、陸上特殊無線技士 2級、航空特殊無線技士などとあつて、これだけ多種多様な異領域を横断する能力の持ち主であれば、安部公房を一読ハマるのではないかと（ここから私は恐れ多くも天皇陛下に変身して言ふと）希望致します。

今の世の中を眺めるときに、『超限戦』の戦争に対抗し打ち勝つためには、同じ平面上で、次のやうに世の中を眺める必要があるといふことです。世の中の世は、IT通信技術の発達によつて、もはや世界といふ意味になつてしまつた。紫式部が聞いたらさぞかし驚くことだらう。この本より学んだことを以下に分類して整理します。

### 1. 情報技術分類

- (1) 半導体技術
- (2) 仮想通貨技術
- (3) 人工知能技術
- (4) 通信技術

一つの技術が話題になつた時に、これら四つの技術分類の項目から当該技術の吟味をすることである。これがそのまま国家と個人の安全保障について考へることになります。情報技術分類は同時に、その反面は諜報技術の分類になることを、あなたの心に銘記して下さい。収集すると盗まれる。即ち、あなたの手にする俗称スマホがそのまま諜報技術の結晶だといふことです。これが、この本のプロローグの教へるところです。さて、その上で、次のやうな分類を併せもつて情報を読み解く必要があります。中国共産党を以下中共と略称します。

### 2. 中共派の分類

- (1) 法人派（会社派）
- (2) 個人派（人脈）

これには更に、表・中共派と裏・中共派があるので、



### 3. 表裏分類（中共脈を含む）

- (1) 表脈
- (2) 裏脈

といふ二面で、あなたの手元に来る情報を、技術に限らぬ情報、例へば社会事件、政治事件、経済事件であつても、読む必要があるといふことです。このことを此の本は教へてくれる。

もう一つの分類は、著者がソフトバンクを巡る腐敗中共脈のことから得ることができる次の分類です（同書11ページ）

### 4. 傀儡人形劇分類

- (1) 傀儡（かいらい・くぐつ）
- (2) 人形使ひ

この人形劇または傀儡といふ文字の方がおどろおどろしくて私は好みですが、このクグツ人形劇を監督する舞台監督が他にゐるだらうといふことになりますので、この分類は、

### 4. 傀儡人形劇分類

- (1) 傀儡（かいらい・くぐつ）
- (2) 人形使ひ
- (3) 舞台設定・監督者
- (4) 脚本家（シナリオ・ライター）

といふ風にした方が実利的な情報分析ができるでせう。

(4) は今やディープ・ステート（DS）と呼ばれて世界に有名になつてしまつて、またドナルド・トランプの標語（スローガン）”Drain the Swamp!”（沼を干せ！）によつて、遂に舞台の上に姿を現してしまつた沼底に蠢いてゐた大ワニである〔ユダヤ国際金融資本であり且つ反シオニストである〕人間たちの集合である。このシナリオにそつて舞台上に上がつてゐる傀儡たちの集まりの国際上位会議がビルダーベルグ会議であり（これが上記（3）の、各国家に帰れば統治者として振る舞つてゐる人間たち）、この会議の決定を受けて動き廻る傀儡であり人形であるのが、政商・代理人の政治家・代理人の役人ども、といふことになる。これらが（1）である（例：日本ならば越後屋竹中平蔵）。残る（2）は政界・財界・官僚界にゐる要衝に当たつて本来は国を守る現場の長足べき何とか政務次官などといふやうな肩書きの人間たちでありませう。勿論官僚界の見ならず与党ならば幹事長とか政府ならば官房長官とか、まあ、非喜劇を演じてゐる。いふまで

もなく、当人には喜劇（何しろ喜びであらう）、しかし国民には悲劇（観るだに悲しい）。

さて、勿論、上記の4番目の分類は、2番目の表裏分類と併せて、私たちはスマホ時代のpersonal journalistとして情報分析をすべきなのです。

上記に「腐敗したソフトバンク」と書いた理由は、国民の利益に反しまたは損なふといふ意味です。著者は此れにソフトバンク社員がファーウェイ社員に頻りに深圳旅行接待を「おねだり」されたといふ後者の元社員の言葉を引用して説明してあるところを見ると、これは中共である以上、確実にマネー・トラップのみならず、ハニー・トラップも仕掛けられてある。

更に、もう一つの分類は、通信技術の世界のみならず、著者がよく口にする中国・台湾のシンジケート青幫（ちんぱん）に典型的な様に、一言でいへばネットワークで私たちはものを考へねばならない時代になつてあることを自覚すべきだといふことです。シンジケートもネットワークの一種です。上記に書いた「2。中共脈の分類」も「3。表裏分類」も脈といふ一文字で私の言ひ表したかつたことは、ネットワークといふ意味です。

北朝鮮の拉致被害者のご家族である横田めぐみさんのお母さんが或る時インタビューに答へて話す言葉が、本来ならば外交官や外務省の役人や国会議事堂の中にある政治家の発言であるべき、国家を代表する人間の言葉であることに私は怒りを覚えたことがあります。一体何故、庶民が国家を代表した言葉で訴へねばならないのか、と私は怒つたのです。政治家も役人も何も仕事をしてこなかつたといふ事実を、この横田早紀江さんの言葉が天下に示してゐた。ここで私は、恥を知れ、政治家ども！（もはやドモである）、恥を知れ、役人ども（これもドモである）と心中、叫ばずにはゐられないのです。

同じ思ひを、この著作を読みながら思ひましたので、最後に著者による後書き「おわりに一人権のパラドックス」から最後の二段落を引用して此の書評を終へることにします。日本人といふ人間を奪はれ、今度は国家までも奪はれてゐて見て見ない振りをしてゐるのか、恥を知れ！十把人からげの非人どもよ！ICチップは、私たち日本の産業の米粒である。これは深田萌絵といふ一企業経営者の口にする科白ではなく、本来は政治家と行政官僚のいふべき言葉である。何故この後書きが「人権のパラドックス」と題してゐるのかを、政治家モドキと役人モドキにとくと読んでもらひたい。国家予算を費消してもしても良いから（これは無駄遣ひではないから）、この本を政府は買い込んで国会議事堂内と霞ヶ関に配布して、日本国民に対して各省庁のホームページで彼奴ら（もはやキャツラである）に感想文を書かせ発表させて、これを国民に提出しなければ、お前の給与を減額

するか賞与は今年はないぞ位のことを言ってみろ。これが私人のいふべき策か？坂本龍馬ならば船中八策を書いたのであつたな。それなら、深田萌絵は女龍馬であらうか。判断は読者にお任せします。ご一読下さい。時代は今やIT幕末時代であることが分かります。さて、女龍馬の八策です：

「金融政策だけで景気を刺激するのは限界で、技術流出の防止や産業政策に力を入れるべきである。国家が明確な技術ロードマップを持って資本投資を行い、民間セクターで賄得ない技術防衛政策について補うべきである。それには、米国のように体系化された「知」と、長期的で柔軟な「計画」、そして、国境を超えた技術スパイという国際犯罪に立ち向かう強い国家の枠組みが必要だ。

わが国が、知見の高い民間の識者をより多く起用して知の体系化を図り、官僚や政治家のサポートとなる国家のシンクタンクが設けられることを期待してやまない。」

知の体系化も長期計画もシンクタンクも、皆、あれもこれも今の政府と官僚に最も欠落してゐる能力である。この本の出版されたのが2018年12月。この月からこれまでの間にも私たちの手元から、『砂の女』の主人公仁木順平のやうに両の手の指の間から砂のやうにサラサラと落ちて行つて失はれたものがたくさん見えない形である筈です。その失つたものを今武漢ウイルスまたは新型コロナまたはチャイナ・ウイルス（私はチャイナチ・ウイルスと呼んでゐる）と呼んで総称してゐるのではないか？この細菌の名前は、もはや細菌のみに留まらぬ、時代の相を表す名前となつた。これを逆用すれば、絶好機である。

あなたの、自分の頭で考へてもらひたい。何故なら、この問題はIT幕末時代を如何に生きるかといふあなたと、子々孫々の私たちの人生の問題だからです。

問：あなたは佐幕派か倒幕派か？

答：勿論、安部公房の読者は皆例外なく、二項対立を超越して第三の道を往く、砂漠派である。



糞尿と性愛の文学

～生殖器・排泄器同一社会論仮説～

(3)

岩田英哉

1。古事記の中の糞尿と性愛

1.1 神武初代天皇の皇后（きさき）の出生譚（2）



ネット・メディア論  
(14)  
7.3 公私の最大単位

岩田英哉

目次

- 0. はじめに
- 1. 国家とは何か
- 2. 用語の定義
- 3. メディアとは何か
- 4. ネット・モナド論
- 5 公私とは何か
- 6. 二階層戦争論とメディア論の関係
- 7. 政治形態と自由
  - 7.1 政治形態とは何か
  - 7.2 自由とは何か：私たちの自由およびlibertyとfreedomの違い
  - 7.3 ビルダーベルク会議とダヴォス会議と国家との関係
  - 7.4 政治形態E&Aの公私：一神教のtopologyの政治形態
  - 7.5 政治形態Jの公私：高天原のtopology（超越論）の政治形態
- 8. 経済形態と自由
  - 8.1 経済形態とは何か
  - 8.2 資本主義と政治形態Jを如何に一つにするか：江戸時代幕藩体制下の信用取引に学ぶ
  - 8.3 ネット・メディアの役割
- 9. 私たちは如何に生きるべきか
  - 9.1 学歴無用論：盛田昭夫著『学歴無用論』
  - 9.2 学問有用論：福沢諭吉著『学問のすすめ』
  - 9.3 グローカリストとしての千利休と後裔たち（令和時代の人間像）

\*\*\*

- 7.1 政治形態とは何か
- 7.3 ビルダーベルク会議とダヴォス会議と国家との関係



## *Mole Hole Letter*

(54)

さらば、Google! (2)

～断捨離GAFAシリーズ (4)～

岩田英哉

<https://decrypt.co/56086/google-competitor-presearch-launches-decentralized-search-engine>

前回Googleを超えるエンジンのことを書いたら早速この記事の配信がありました。この新しい、Googleとは正反対の作り方をした検索エンジンの名前は、

Presearch

といひます。

この検索エンジンのポイントは3つ、

- 1 個人情報を暗号化すること
- 2 検索エンジン提供企業もその内容を関知しないこと
- 3 ブロックチェーン技術を利用していること (匿名性が保証されてゐること)

安全保障を絡め、且つTT技術を使ったプラットフォームサービスの進化の速度は驚異的です。

上掲のリンクの記事を読みますと、このサービスもGoogleの検索サービスの表示階層が浅く制限を掛けていて自社のサイトが深掘りされないと云ふ不満から起業したものです。時間をかけて準備して居るので上手くいくでせう。但し、Googleが潰しに掛からねば。

私の書いた通りに現実が露わになるといふのは、言語表現と現実露呈の差異 (時間的遅延) がほとんど0であるので、これは、多分狂気の時代だ。さつき、A・オカシオ・コルテスの動画報道をみたが、わたしはアタマが・オカシイ・コルテスと呼んで居る。日本にも一杯居るアタマのオカシイ・コルテスさん。略号、AOC。

さて、別方面ですが依然としてGoogleの話です。これは、私の「安部公房の広場」の管理画面を見てみて気付いたことです。このブログはGoogleのブログサービスであるBloggerを利用してゐます。

久しぶりで開いたところ、管理画面が一新されてゐました。以前の方が当方としては使い勝手が良いわけですが、その話ではなく、画面設計そのものといふ比較的高度な技術を要する仕事ではない、もつと下のエンジニアの仕事が雑で、数字もアルファベットも漢字も位置が入れ替はつた時間表示になつてゐました。これには驚いた。

ここまで程度にネット技術が降りて一般化すると、エンジニアといふよりは、もはや事務方といふべきですが、いづれにせよSNS部門の事務管理能力（公開前に画面の出来上がりの検査をしてゐない）と実働部隊の現場の能力が落ちてゐるといふことです。

これはアメリカ資本傘下にある日本の子会社の品質管理の水準が相当に劣化してゐることを意味してゐるので、私の経験によれば、優秀な人間たちが退職してゐるのです。アップルもさうですが、スティーヴ・ジョブズの死後に同様の現象がアメリカで起きてゐる。それが今日の、アメリカ大統領選挙を巡つて明らかになつた全体主義メディアの、創業者から数へて早や二代目にして成れの果ての社業頹廢の現実といふわけです。スティーヴ・ジョブズが草葉の陰でないてゐる。

枝葉で異変があるとは、幹に異変ありといふことです。神は細部に宿る、といふのは本当です。

枯葉の意味するところは次の二つ：

1. 季節が変はりつつある（時代が変はりつつある）
2. 幹自体が腐りつつある

ところで「安部公房の広場」の管理画面を見たら先月のアクセス数は1400人でしたから、まあ、購読登録の読者数を含めて読者の総数3000人といふ読者数はいい数字ではないかと思ひます。何故なら、このブログにはもぐら通信のpdfのダウンロードのためのリンクが貼つてあるからです。

といふことは、FakePook（私はFaceBookをかう呼んでゐる）にも異変ありといふことです。といふことは、大統領選挙に敗者の筈のトランプにも異変ありといふことです。

なんとまあ、猫の目のやうに変はる潮の目であることよ。そこで字余りの駄句を一句：

猫の目や 潮の目魚の目 サイコロの目



## 縄文紀元論：Topologyで日本人を読み解く

(12)

岩田英哉

## 目次

## I 縄文紀元日本語論

## 1. 日本語と漢語の関係

Intermezzo：何故日本にはキリスト教徒が全人口の1%しかゐらないのか？

## 2. 日本語の音義と概念の関係：五十音表とは何か

## 3. 五十音表を記号化する 4. 日本人の言語宇宙

## 5. 古事記の宇宙観

## 5.1 高天原とは何か1

## 5.2 カミとは何か1

## 5.3 高天原とは何か2

## 5.4 日本語の特殊の中の普遍

## 5.5 海の民のお祭りと超越論の関係

## 5.6 天照大神とは何か

## 5.7 月読命とは何か

## 5.7.1 月とは何か

## 5.7.2 月読命とは何か

## 5.7.3 月読神社とは何か

## 5.7.4 ヤシロとは何か

## 5.7.5 「鹿座神影図」を読み解く

## 5.7.6 磐座と注連縄の関係

## 5.7.7 亀の甲羅とは何か

## 5.7.8 習合とは何か

## 5.8 カタカナとひらかなの関係

青字は既論の章、赤字は今回  
論ずる章、黒字はこれから論  
じる章

Intermezzo 2：海風之大刀（アマナギ・ノ・タチ）は一体どんな姿をしてゐるのか

## 5.9 日本位相習合史

## 5.10 何故国家は単数または複数の神とともに生まれるのか

## 5.11 かごめかごめの歌は一体何を歌つてゐるのか

## 5.12 縄文土偶とは一体何か

## 5.13 習合といふ漢意をやまとところで何といふのか

## 5.13.1 位相史のための紀元の種類

## 5.13.2 淤能碁呂島とは何か

## 5.15 縄文土器とは何か

## 5.16 大祓へを読み解く

## 5.16.1 何故私たちは御祓を必要とするのか

## 5.16.2 大祓へに唱へられる「聞こし召す」とは何か



## 5.16.3 「聞こし召す」前に「しろし召す」がある

- (1) 第一段：高天原八百万神大祓ひ会議
- (2) 第二段：大倭日高見国内の天津罪と国津罪の分類と大祓
- (3) 第三段：大倭日高見国は大祓の結果どうなつたか

## 5.16.4 八の音義は何を意味するか (2)

## 5.16.5 国学言語論と欧米言語学の関係

## 5.16.6 誰が「しろし召し」誰が「聞こし召す」のか

## 5.17 紫式部の超越論『源氏物語』

## 5.18 「蟲めづる姫君」はカタカナとひらかなを如何に使ひ分けてゐるか

## 5.19 ダイダラボッチと巨人伝説：大倭日高見国と播磨国：房総半島と瀬戸内海の交流の歴史

## 5.20 日本人はどこから来たか

## II Topologyで縄文土器を読み解く

## 0。縄文土器の概念と分類

## 1。紋様とは何か。目とは何か

## 2。縄文土器の構成要素

## 3。縄紋は縄目と渦巻き紋様で出来てゐる

## 4。縄文土器は三階層で出来てゐる

## 5。縄文土器には開口土器と閉口土器の二種類がある

## 6。縄文土器は私たちの宇宙観を体現してゐる

## 7。メディア（媒体）としての縄文土器

## 8。弥生式土器は二階層で出来てゐる

## 9。メディア（媒体）としての弥生式土器

## 10。縄文土器と弥生式土器の関係（topologicalな連続性）：3（奇数）から2（偶数）へ

## 11。銅鐸は7階層で出来てゐる

## 12。縄文土器の政治と弥生式土器の政治：土器と政治の一体と分離：銅鐸とは何か1

## 13。縄文土器の経済と弥生式土器の経済：土器と経済の一体と分離：銅鐸とは何か2

## IV 21世紀の現代に縄文土器はどのやうに生きてゐるか VII 20世紀の幕を閉ぢ、21世紀に生きるための結語

\*\*\*

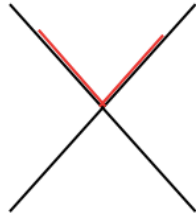
## 5.16.4 八の音義は何を意味するか (2)

林甕臣（みかを）の説を御覧頂く前に、形象（イメージ）として、一体**ヤ**の音義がどのような形であるかを見てもらひたい。次の図の赤い線の結ばれたV字型または逆の形である**ハ**字型が**ヤ**の音義です。ダウンロードは：<https://docdro.id/SlogfVm>  
図の中に入れたコメントの文字も読んでもらひたい。大事なことが書いてあります。

2021/02/16  
eiya iwata

《ヤ》の形象

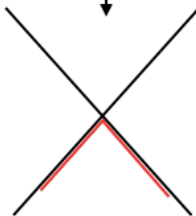
大祓の文字を読むと二つの線の交差する一つ内側の赤い線で示した角度と形象が実際の豊漁の漁場のヤであり、それが祝意によつて立ち上がる自然の形而上学の世界の《ヤ》であり、二つながらあはせてのヤである。



- (例)  
八百路  
八潮道  
八岐大蛇  
八塩折之酒  
八咫鳥

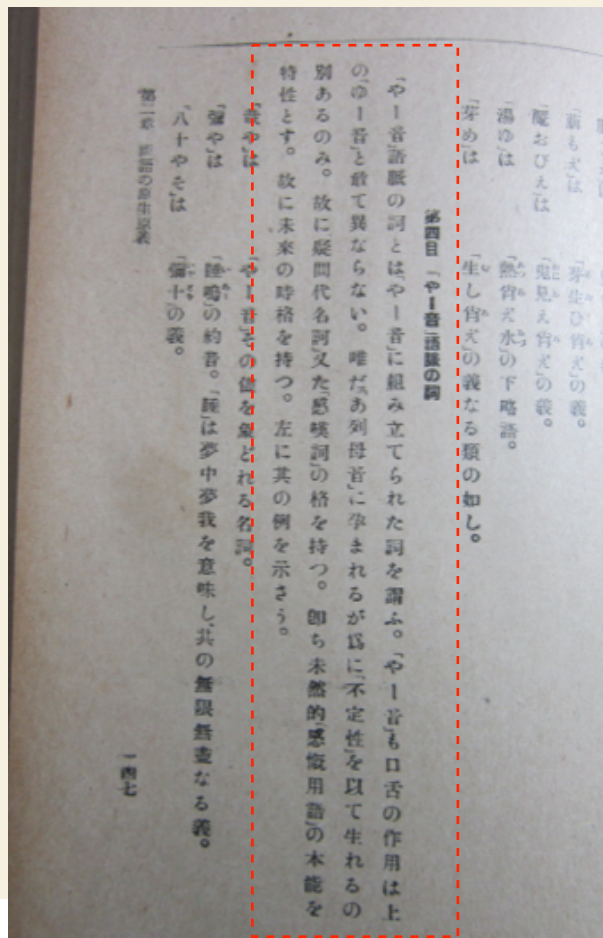
八百屋（考へてみれば、八百屋さんといふのもありと凡ゆる野菜が一箇所に集まる交差点である。魚屋を八百屋と云はぬのは、やはり海の民の語を地（つち）の民の語彙に転じたからであらうか。）  
八百万の神々（確かに出雲に八百万の神々が集まるのは、八百屋さんと同じ八百だからで、かくヤ（八）の音義で発声すれば、それは最初から集まること、交差することを意味してゐたのです）

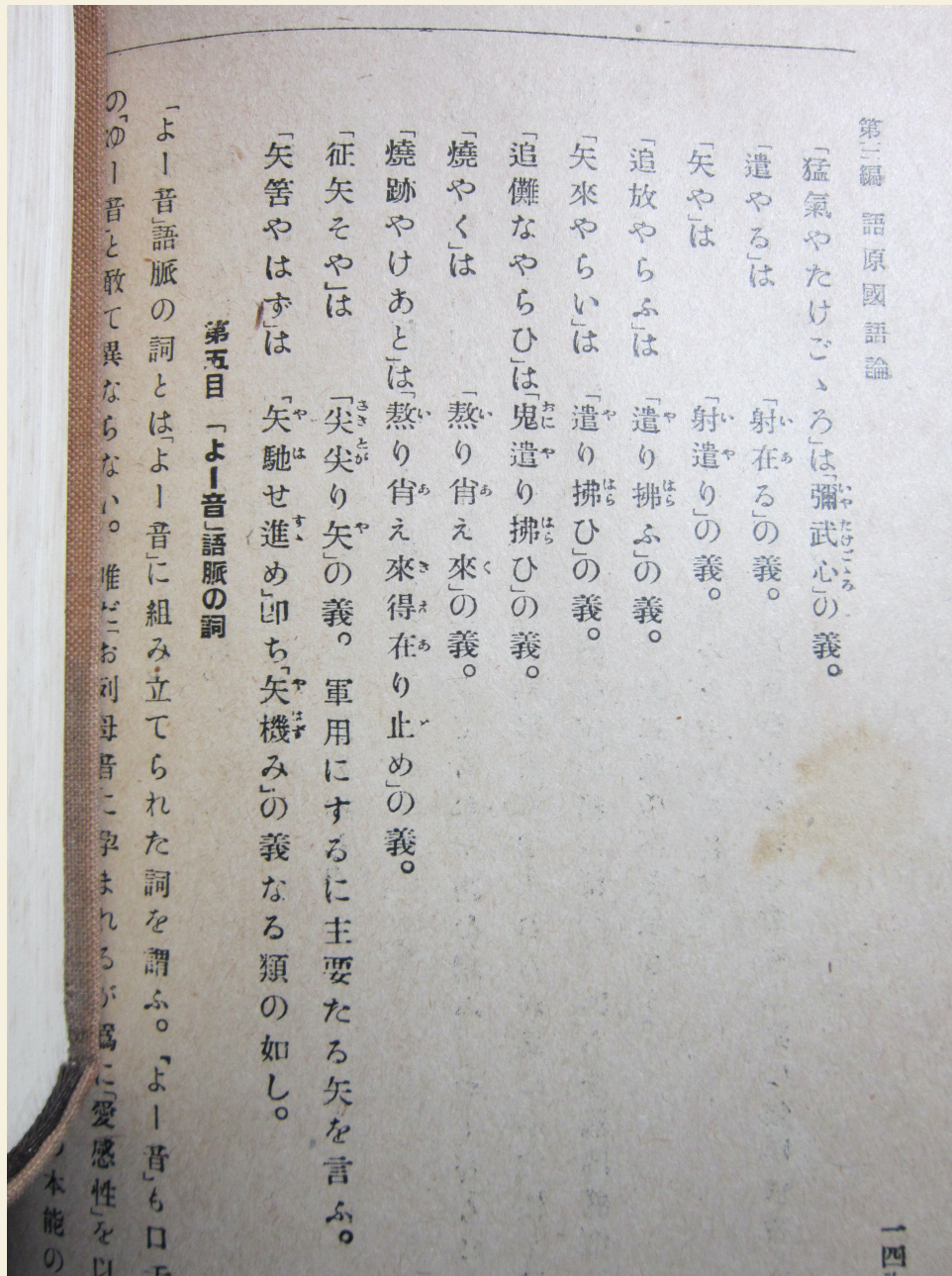
私たちが日本人の世界はトポロジーの世界であるので、天地は等価交換されていづれが天でもいづれが地でも同じ値を持つてゐる世界ですから、このヤの音義によつて表される形象は上下・天地いづれに開いてゐてもよい。要するに、私たちが日本人の宇宙観は天地（あめつち）の間に全てが収まつてゐるのです。実に単純で簡単で力強い宇宙観です。



林甕臣（みかを）の著した『日本語原学 全』（建設社）に拠つて、その音義は次のやうに明らかになつてゐる。転記しようと思ひましたが、今の碌でもないパソコンにはない文字が幾つもあるので、そのまま転写します。これをお読み頂いた後で、上の形象を念頭に置いて、世にあるヤの音義の表す形象を、全てとは行かないでせうが、洗ひ出してみませう。：

後述する考察から戻つてこの説明を読めば、やはり最も重要なのは、個別の言葉の説明よりも、破線で枠囲ひした文字通りの音義の解釈です。

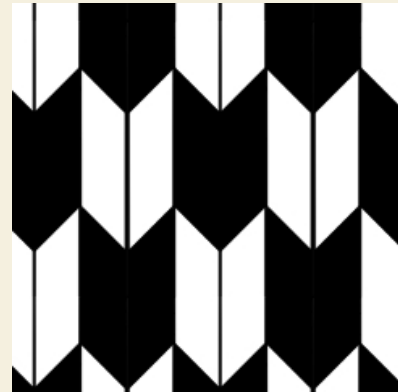
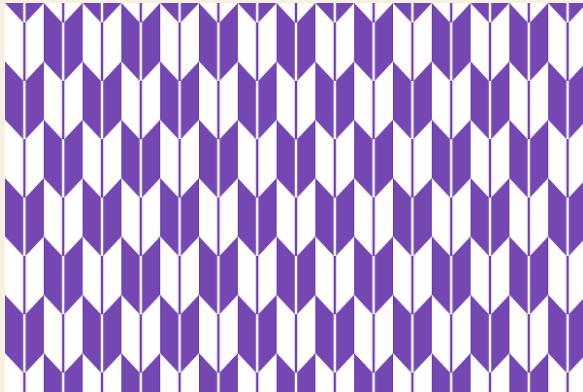




以上の理解を前提にして、私たちの見聞きし、または知つてゐる**ヤ**の形象を見てみませう。

ヨーロッパの人間の思ふやうな線分の交差とは異なり、私たちはこの線分の内側のV字型に意義と意味を見出してゐるのですから、これは二本の線ではなく一本の線であつて、一筆書き（トポロジー）の感触が既に此処にあります。

色々な**ヤ**の音義を表す形象を、私たちの身の廻りから拾つて見ましたので、これを示して解説します。一番応用が利いてわかりやすいのは、矢拵（ヤ・かすり）の様です。



この形象から生まれる解釈は次のやうになるでせう。

- (1) 矢の音義は繰り返しを意味する。
- (2) この繰り返しは交差によつて生まれるが故に豊饒であり、豊かな実りを地上では意味し、海上では豊かな魚の群れのゐる漁場を意味する。
- (3) 既に、海亀は豊かな漁場への案内人である。
- (4) 海亀の甲羅は既に**ヤ**の音義による繰り返しの矢拵模様類似の模様であり、私たちの祖先である縄文人の半分（質的な意味での半分）は、南太平洋諸島から小笠原諸島の伝つて北上して来たのであるから、そこに棲息する海亀の甲羅は矢拵模様似である海亀であらうといふ推理が成り立つ。そこで、小笠原諸島の海亀の甲羅は次のやうな模様をしてゐるので、さうだとわかる。同じ海亀でもよく見ると、青海亀などは、赤海亀と違つて、手足の模様も矢拵模様である。亀の種類によつては、矢拵模様ではない模様の海亀もゐるでせう。

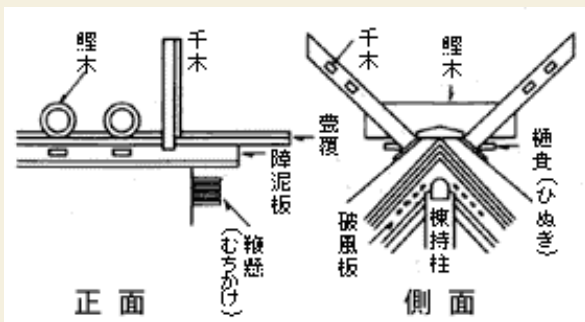


青海亀



赤海亀

海（あま）から地（つち）に目を転じると、次のやうな**ヤ**が、まづ建築物としてあります。これは神社の本殿の上にある千木（ちぎ）と呼ばれる**ヤ**です。



千木（チ・ギ）のチの音は、高天原の第一層に下から現れる第二層との上位接続の神である宇摩志阿斯訶備比古遲神（うまし・あしかび・ひこぢの・かみ）のチの事であり、これは命のチの意味、道（御・チ）のチの意味です。何故千の漢字を充てがったかといふと、これは高天原に関係して、国（島々・日本列島）の上から高天原を仰ぎみるからであり、これは国のことに関する事柄だからです。天津国といふ国がもしあるとすれば、この国にある文字は萬（よろず）なのであり、この国即ち高天原から望んで国の方を眺めれば使用できる呼称の文字は萬、これに対して地上から天（あめ）を仰ぐ時の言葉は千。数の単位としても音義にうまく合はせてゐます。千の数の神々ではなく、やはり萬（まん）の神の神々、それも八萬万の神々でなければならない。国津あつて天孫降臨した瓊瓊杵尊（ににぎのみこと）の後継である代々の天皇（すめらみこと）の世界では、何事も千代に八千代に、高天原にあつては、何事も八百萬といふわけです。また思へば、亀は千年、鶴は萬年。此処でも地では千年、天では萬年といふわけです。これは、私たちの鶴亀哲学の論理です。論理と呼べるものである以上、大変体系的に私たちの語彙の体系は出来てゐる。それを五十音表は表してゐる。

また、既に論じた大祓への第一段の言葉の中にある「下津磐根（したついはね）に宮柱太敷き立て/高天原（たかまのはら）に千木高知りて」とある此の「千木高知りて」の意味が、これでよく解ります。「下津磐根（したついはね）に宮柱太敷き立て」といふ前半は大倭日高見国の中に向かつた統治のこと【A】、これに対して「高天原（たかまのはら）に千木高知りて」といふ後半は大倭日高見国から高天原に向けた祭り・祀り、高天原によつて国を治めるといふこと【B】をうたつてゐることが判ります。これも均衡良く、対称性を重んじて、左優位・右劣位といふ鶴亀哲学、即ち高天原の言語規則にしたがつてゐる。海の民の言語規則といふべきでありませう。今の人ならば、形式に過ぎて此れを壊すことを恐れ最初から高天原が第一、第二が国のこととい

ふやうな理屈に陥るのではないかと思ひます。また、ここで思ひ出すのが、舒明天皇の御製に「香具山に登って国見をした時」と題した歌がありますが、その一節に「登り立ち/国見をすれば」とある、この「国見」が【A】に当たる行為、もし其処で高天原に向けて祈れば、それは【B】といふことになります。つまり、【B】は千木高知る、即ち千木の高さを以て統治するといふことになる。すると、高（タカ）とは、高天原を仰いでといふ意味であり、高天原とは下から天（あめ）を仰いだヒトからみた天の原に対する呼称だといふことになります。

さて、それが、高天原の語意である。それも、左優位・右劣位、即ち対称性を重んじて、尚且つ片端・片葉で半分を隠して沈黙の中に置く私たちの、目に見えない精神の文法によれば、舒明天皇の御製も実は半分しか音にせず文字にしてゐないといふ理解も正しいでせう。何がいひたいかといへば、天の香具山の上でやはり「千木高知」らしめしたであらうといふことです。今ネットで検索すると確かに山の上には香具山神社といふ神社があり、社殿があつて、今いふ千木は屋根の上にはないやうですが、社殿の背後に高い二柱の杉の木と思しき木が立ってをります。神社は境界域に立ち、いはば存在の交差点に立つてゐることは既述のところですが、木が二柱立つならば、これの交差点が社殿であるといふならば、これはこれで千木と理解することができます。また、この山が、天（あめ）の香具山と呼ばれて「天の」といふ冠辞がいつもつくならば、やはり此処が高天原であるといふことにもなります。天原に高向かふ高天原である。高見があれば、国見がある。大倭日高国といふ国名の由来です。

それでは、次に問ふべき問は、高を取り去つた天原（あまが・はら）とは一体なんであらうかといふ問です。

私たちの日本語の上述の精神の言語規則によれば、言霊/コト・タマの世界はコトの半分半分の、片葉・片端の世界で玉になり球になり珠になる世界でありますから、

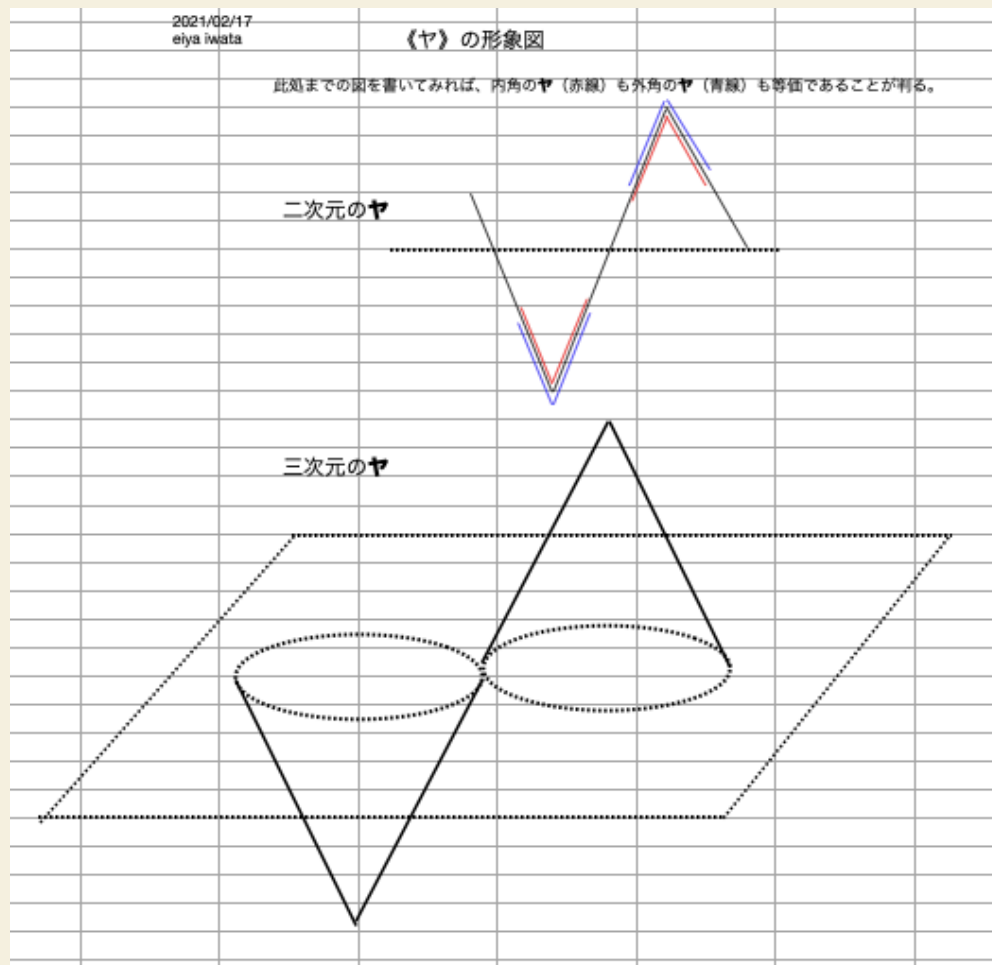
天原（あまが・はら）には、天河（あまの・かわ）がある

といふことになります。

天の川と書き、天の河と書いても、これは夜の星空に流れる銀河・galaxyです。それ故にこそ、何故最初に天地（あめつち）の垂直方向の時間の存在しない差異（difference）に天御中主神（あめの・みなか・ぬし・の・かみ）が現れたのが自

明のこととして理解されます。これが、海の民の世界であること、この全体の宇宙像は既に超越論として、色々な文脈に於いて、お話して来た通りです。何と美しい、私たちの夜の世界でありませうか。この天の河は、本来は海の民が夜の海上から高く、千木高く仰ぎみたものなのです。かく思へば、天の原とは、海の上の原（ハラ）のことになります。海原（ウナ・ハラ）と私たちは今に至るも呼んでゐる。腹はなだらかで生命を産む場所です。この海原から仰ぎみる天の河を地（つち）に写像（mappig）して、地（つち）の民との第一の習合のために山の上の高みを下の国から仰ぎみる波型のVの形象、音義《ヤ》を高天原と呼び、「千木高知る」やうに国見、即ち国民安寧のために祈りを奉じた。これが立て祀ることの、地（つち）の上での本義であると私は思ひます。海の上での立て祀ることについては、天咫・天薙ぎの剣のといふ緯度測定器である神器のことも含めて、これも既述の通りです。

さて、ここで、この存在の交差点《ヤ》を、以上の考察を図示すると次のようになります。

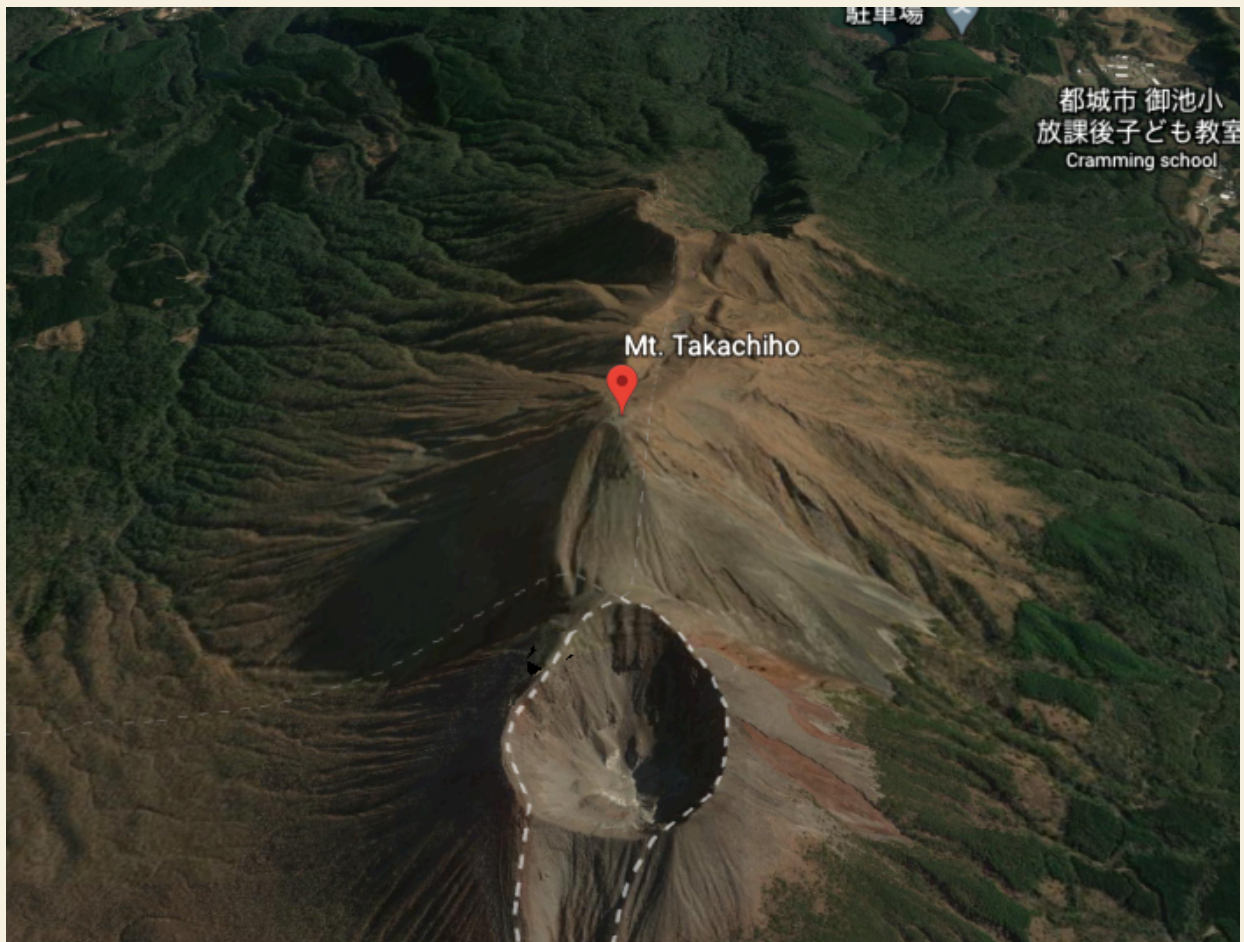


さて、驚くことなかれ、何をどう考えても、

この存在の交差点《ヤ》の上に、また《ヤ》の中に、天尊瓊瓊杵尊は降臨する。

この地形は高千穂の峰と呼ばれてゐる。しかし、高千穂とは一体何でありませうか？  
高千穂の高千とは「千木高知りて」の「千木高知る」と同じ意味です。それで、高千・穂。まづGoogle Earthで見る高千穂の峰の全体をみて下さい。

(此処に入れる)



上の写真で峰の名前は英文字でMt. Takachihoとなつてゐますが、これが古事記にある、

「天の石位（いはくら）を離れ、天の八重たな雲を押し分けて、いつのちわきにちわきて、天の浮橋にうきじまりそりたたして、竺紫（つくし）の日向（ひむか）の高千穂のくじふるたけに天降（あも）り坐（ま）す。」



とある、この引用の「竺紫（つくし）の日向（ひむか）の高千穂のくじふるたけ」といはれてゐるのが、上の峰といふには少し低いですが、それでも岳（たけ）と呼ばれ得る山の頂きです。

これで、高千穂といふ地名の由来が判ります。穂とは、女性の秘所のホ・ト（門）のホのことで、これが凸凹のうちのV字型形象の後者即ち凹（V）といふわけです。これは稲穂のホも同じ形象であり、壺（ツ・ホ）のホも同じでせう。他にも、そこに火山があり、カルデラができれば、同じ形象が生まれますので、これを一般化すれば、世界中どこにでも火山があつてカルデラがあれば、それは天孫降臨の場所足り得るのではないかとふことになります。今ここでは話を日本国内に絞りますと、高千穂といふ山があるのではない。高千穂といふ凹のカルデラがあつて、そこに隣接する峰があるのだといふ理解の順序です。大祓を読んで知つた通りに、関東地方にも大倭日高国の世界でも瓊瓊杵尊が天孫降臨してゐることが書かれてゐますので、同じ山とカルデラがある筈だと思つて調べたら、確かに同じ条件を備へた地形がありました。日本列島の上では、ここでの天孫降臨が最初で初元のものです。同じGoogle Earthの写真を掲げます。高千穂の峰にカルデラが一式であるやうに、此処には神山と大涌谷と今呼ばれるカルデラが伊豆・箱根の山の中に一式で揃つてゐます。



この大涌谷は「箱根火山の火山性地すべりによる崩壊地形。箱根火山の中央火口丘である冠ヶ岳の標高800mから1000mの北側斜面にあり、地熱地帯で活発な噴気地帯でもある。」とあります (<https://ja.wikipedia.org/wiki/大涌谷>)。今、同じWikipediaから大涌谷の形成の歴史を引用します：

「大涌谷は二回の過程を経て形成された。約3100年前、箱根火山で水蒸気爆発による山崩れが発生し、堆積物が溜まった。さらに 約2900年前に小規模な火砕流が発生、冠ヶ岳ができ、また火山物が積もった。この火山物と山崩れによる堆積物の間が現在の大涌谷となっている。」

この記述は『日本列島100万年史』（講談社ブルーバックス。山崎晴雄・久保純子共著）にある記述に一致してゐるので、正しい。この100万年史によれば、箱根火山の「中央火口丘群」に台ヶ岳・神山・駒ヶ岳が生まれたのが今から3万年前で、その後3000年前に神山が噴火して大涌谷ができます（「箱根新期軽石流と芦ノ湖の誕生」同書140ページから144ページ）。その後再度の噴火によつて今の崩れた形の大涌谷になりましたが、それまでは崩れてはゐない美しいカルデラ形状をしてゐたと考へられます。

このことを前提に考へると、大祓に書かれてゐる瓊瓊杵尊の天孫降臨は、少なくとも（遅くとも）3000年以前であつたと考へることができます。古事記によれば、二人目の西日本での瓊瓊杵尊の天孫降臨は「天の石位」即ち「天磐座」を離れて出立しますので、磐座のある以上は此の時には既に、大倭日高見国ができてゐて（この名前は大祓にある通り）、先に住んでゐた地（つち）の民との第一の習合も終はつたあとの、神社の祖形である磐座に注連縄の様式の定まつた後のことでありませう。「天の石位」とある通り、地（つち）の民は石と岩の民です。この紀元を石器時代と呼んでゐますが、時間の長さを考へれば、石器紀元と呼ぶべきです。もし石器と岩石と岩山信仰の遺跡を指標とするならば、さうなります。

「天の石位を離れ」た後に、「天の八重たな雲を押し分けて、いつのちわきにちわきて」と瓊瓊杵尊は進むわけですが、この「いつのちわきにちわきて」を、私の参照してゐる朝日古典全書上巻の註釈者は「威勢よく道を開き通して」と解釈してゐますが（同書270ページ）、大祓を素直に読めば書いてある通りに「天の八重雲を伊頭の千別（ちわき）に千別て/天降し依（よさ）し奉りき」とあるのと同じで、千とは高天

原の元にある国、此処では大倭日高見国といふ国の中へと向かふことですから千別（ちわき）に千別と詠まれて、これは繰り返してありますから既に呪文であり祝祷となつてゐて千の音義が読まれ文字として書かれてゐる。別とあるワキとは、やはり此れも二つに別れた道（ミ・チ）であつて、分岐し交差した形の《ヤ》の形象なのであり、《ヤ》音義の表すチ・ワキです。そして、奈良時代に出来た此の古事記に叙されてゐる記述が日本列島の西半分の天孫降臨のことだとしても、これが慣用句になつて「いつのちわきにちわきて」と天孫降臨に際して「威勢よく道を開き通して」と解釈して詠まれることはおかしなことではありません。かくして、

天照大御神のお孫さんの最初の瓊瓊杵尊は、伊豆の神山に「天降（あも）り坐（ま）」した。

といふことになります。

問：ところで、此処まで参りまして、山と漢意（からごころ）で文字を書いて少しも疑ふことのない此のヤマとは一体何でありませうか？

答：ヤ・マのヤは《ヤ》の音義の意味するところに従ひ、V字型の交差の形象なのであり、凸凹の凸のこと。それではヤ・マのマとは何かといへば、凸凹の凹のこと、天孫降臨の山ならばカルデラの形象、普通には谷と呼ばれる地形の側断面ではないかと私は思ひます。これは勿論、時間的な間合ひのマ（間）即ち隙間といふ意味でも、余白ともいつて構はない私たちの言葉の世界の本質です。天武天皇の御製「み吉野の耳我の嶺に 時なくそ雪は降りける 間なくそ雨は降りける」とある「間なくそ雨は降りける」通りです。耳がの嶺といふ山頂に「時なくそ雪は降り」「間なくそ雨は降りける」とある言葉は、今の私たちが思ふ以上の深い意味を持つてゐるといふことだけは解ります。嶺といふ文字になつてゐる凸に対して、沈黙の中にゐる凹の谷があるので、そこで何が起きたのか、また何があるのか、昔の人は知つてゐたに違ひないので、それで初めて耳我の嶺といふ名前が、もし歌枕ならば歌枕として生きて来る。

何故、天照大御神が今に至るまで姿を現し続けるのか、それは片葉・片端の高天原の言語規則に従つて、あの国産みの時に、イザナギノミコトの禊から生まれたもう片端の神、月読命が即座にお隠れになり男女の性のない中性の神であることを証明した以上そのまま高天原の第一層にお帰りになつて天御中主神であることになるからです。天御中主神は天地開闢以来に其の名前を呼ばれることがない。しかし、私たち日本語の世界では文脈が異なれば同じ神も同じ人も別の名前と呼ばれることは一向に特別な

ことではありませんし、これが本来の自由自在な変形する言語本来の能力なのです。私たちは言葉・言の葉の自然にミコト・モチをしてみるだけなのです。ヒトはカミであり、カミはヒトである。これは大祓の第三段の三柱の神々の行ひとしてある通りでした。かくして、日高見国は日を仰ぎ、夜の月はお隠れになるといふわけです。

問：それでは月を高く見るのは一体誰の仕事なのでせうか？

答：それは最初は大倭日高見国の国民が秋の十五夜に毎年お月見をすることが、これに当たるといふ答になります。思へば、月を観るとは誠に雅やかな趣味である。それを私たちは今もおこなつてゐる。もつとも桜に団子と同じかも知れないにせよ。

さて、上で私は「これを一般化すれば、世界中どこにでも火山があつてカルデラがあれば、それは天孫降臨の場所足り得るのではないか」といひましたが、同じ一式の山とカルデラの凸凹が他の国にも幾つもあるのです。私の縄文紀元に関する天孫降臨を巡る結論は次の通りです：

- (1) 粘土質の土は、火山帯とともにある。
- (2) そこでは土器が製作される。これを縄文土器と私たちは名付けて呼んでゐる。従ひ、
- (3) 環太平洋火山帯に即して粘土質の土があり、縄文土器が製作され得る。従ひ、エクアドルなどの国に縄文土器の発掘による発見がなされるのはおかしいことでも不思議なことでもない。
- (4) その場所は、太平洋の南洋諸島を含み、南北アメリカ大陸の主に太平洋側がさうである。といふことは、あとは一つの様式の同定一致の探索が重要であるならば、
- (5) 様式の伝達経路を探究すれば、土器の様式については結論に至る。

といふことになります。そこで、環太平洋火山帯の地図を以下に示します。



この火山帯の地図の上に次の地図を重ねて吟味を願ひたい。此処に海の民のふるさともあるのです。『縄文紀元論（3）』（もぐら通信第111号）より再掲します：

「【結論10】：海の民は何処からやつて来たか この非常に言語能力に優れに優れ、分類に長（た）けに長けて、天文・地文の航海法と航海術といふ高度な技術が藝術と呼ぶべき詩的な領域に至るまでの信仰を有し、カモメを飼育し海亀を豊漁の神として敬ひ奉つり、船の上で神祇祭祀を執り行つた此の海の民が何時 日本列島にやつて来たかは既述の通りですので、今度は、何処からやつて来たのかを考察 します。用意するものは次の地図です。三つ目の間は、何故、ですが、これは後述したい。

- (1) 世界地理地図
- (2) 世界海流地図
- (3) 日本近海海流図

(4) 日本近海気象図

これに重ねて上述の、

(5) 海亀の生息地域の種類の世界分布地図

(6) 海亀の棲息と産卵に適格な島嶼または島の世界地図

(7) 海亀の棲息と産卵に適格な沿岸を示す日本地図

これに加えて、

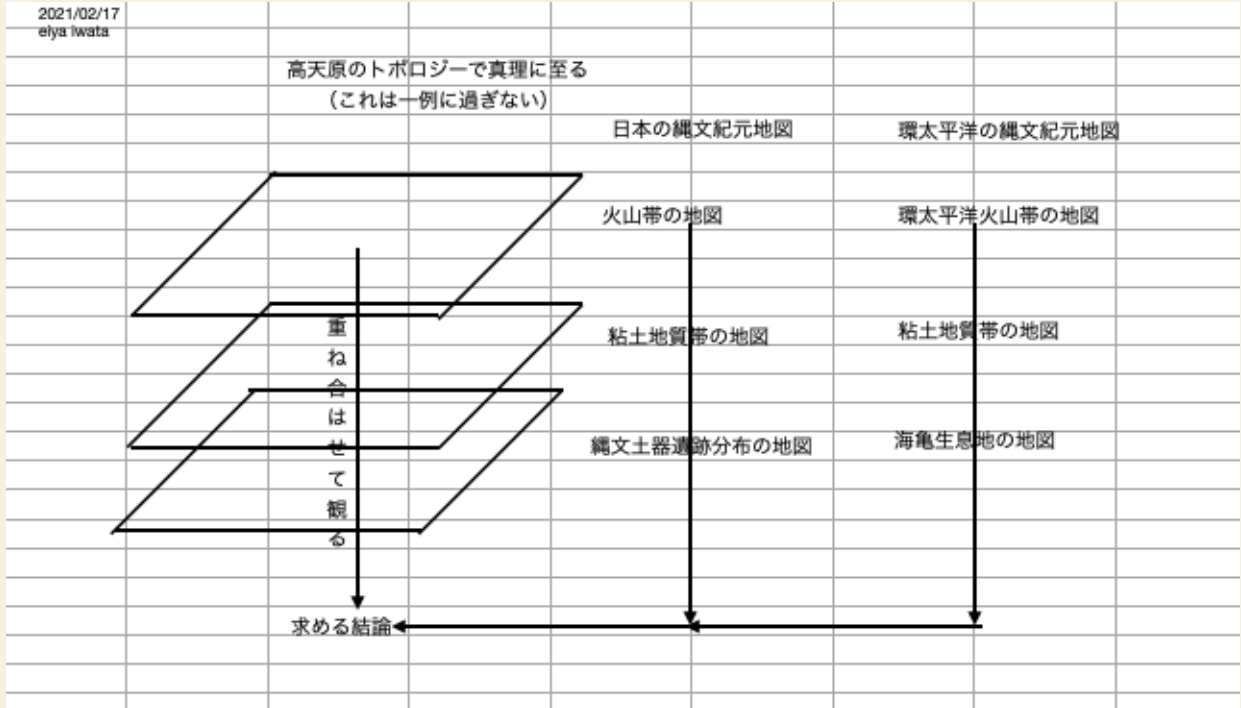
(8) 北緯0度以上にある島々または大陸沿岸部の地図

といふ全部で8つの地図図を重ねれば、海の民のふるさとが明瞭にわかる筈です。八と云へば、高天原の神々が須佐男命が天下るに際して給ひし平安一路の末広がりの数ですから、天津神の御加護もあるらむ。

(8) が大事なのは、日本列島に来るためには北極星が見えなければならず、北極星の見える緯度は当然に赤緯0度以上、即ち赤道以北の緯度即ち北緯の緯度の中のどこかに住んでみなければならないからです。赤道以南であれば、南十字星が天之常立神になります。

今ここに上記(1)から(7)の地図を示しませんが、これらの地図を考慮に入れた上で、これらの地図の最も重複して濃度の高い場所が、海の民のふるさとです。「【結論 3】：日本人とは何か」の定義は、これらを考慮して定義した日本人の定義です。」

要するに、高天原の三階層のトポロジーで考へるといふことです。これが本来は太古からの私たち日本人の根源的・根本的な思考形式である。如何に明治維新以来の文明化かが私たちの自由な思考を貶めたかを思ひ出してもらひたい。せめて文明度が今より格別の幕末までには戻らうではないか。この事実気付いたら、そこからあとは、あなたが決めることである。以下の三階層になる構造は、安部公房の小説や戯曲の構造であることは、これも諸処既述の通りです。ダウンロードは：<https://docdro.id/FHSgBfR>



和辻哲郎の『風土』も読みましたが、しかし、この著作に致命的に足りないのが、火山帯に関する考察でした。外国の風土については実に詳しい。海外の風土を主体に日本の国土を客体にして論じたら、海外の風土は複数あるわけですから、日本の風土の様子は断片化してしまつて、全体を知ることにはならないのです。やはり、日本の特徴的な風土を基準・規準にして外国の風土を論ずるべきでは、これからは、ないでせうか。此処まで来ると、日本特殊論は無意味です。問題なのは、論者がいつも大陸と東南アジアといふ近隣の地域しか念頭にないことで、日本列島の東側に広がつてゐる広大なる太平洋と対岸の大陸の全諸国全地域に思ひを馳せるべきなのではないでせうか。日本は太古から海洋国家です。大陸国家ではない。

縄文土器の出土するエクアドルに次のやうな富士山そつくりの山とカルデラがあるので、写真を掲げます。これはガラパゴス諸島とありますので、日本ばかりとは限らない太平洋の島の火山です。



エクアドル大使館提供



さて、此処からは、最初の矢継に戻って、身近にある具体的な《ヤ》の形象に戻って説明を続けます。驚くことが沢山身の廻りにあることせう。

(以下次号に続く)



Topologyで日本の文化を解説する「内なる境界シリーズ」

(12)

扇

岩田英哉



あふぐなら いぶぎどのかみ ゐたちなむ たれもかれもが みなかみがゆる



## 編集後記

●巻頭詩（15）：黒いタンバリン：日本で初めての「男色者による詩」の読解（前篇）：男色者の詩を男色者の詩として読む：ハート・クレイン：次回は後篇です。これも本邦初訳（本当に男色者の詩を理解した訳者による詩の解釈として）。乞ふご期待。詩の名前はTo Brooklyn Bridgeです。本当に、本当に、美しい詩です。●周辺飛行（39）：3。『周辺飛行』について（21）：アリスのカメラ：周辺飛行37：これも注釈不要の読者のために安部公房が書いてくれた箱男論、他人の顔論、あれこれ論であります。自由自在にお読み下さい。●二十一世紀の日本文学のためのスケッチ・ブック（10）：7.3 ヨーロッパの近代小説とは一体何であつたのか？：既に過去形で語った近代小説論です。到頭、ヨーロッパの近代小説を葬つてしまつた。本文には書かなかったが、政治の分岐点がトランプの登場ならば、やはり世界的な文学の分岐点は、何を隠さう、このもぐら通信の創刊されて2012年である。と書きたかつたのだ。●私の本棚（34）：深田萌絵著『日本のIT産業が中国に盗まれている』を読む：かねて私は此の女傑のファンであつたが、最近動画にコメントなどしてcoming outしてしまつたのである。この人は間違ひなく安部公房の潜在的愛読者です。しかし、YouTubeでは余りに話がマニアックなので、私ごとときには何を言つてゐるのかさっぱり分からぬことが多いのが難。安部公房の小説にそつくり。●糞尿と性愛の文学～生殖器・排泄器同一社会論仮説～（3）：1。古事記の中の糞尿と性愛/1.1 神武初代天皇の皇后（きさき）の出生譚（2）：さて次号●ネット・メディア論（14）：7.3 7.3ビルダーベルク会議とダヴォス会議と国家との関係：さて次号：●Mole Hole Letter（54）：さらば、Google!（2）～断捨離GAFAシリーズ（3）：愛したGoogleを斬るのは辛い。しかし、バッサリと捨てるべきものは捨てねばならぬ。最近の流行語でいへば、鬼滅Google!である。●縄文紀元論：Topologyで日本人を読み解く（12）：5.16.4 八の音義は何を意味するか（2）：これで日本人の文明論は相当に整理されたと思ふ。過去に書かれた文明論は皆この中に入つてゐる。●Topologyで日本の文化を解説する「内なる辺境シリーズ（12）：扇：待たれよページの歌に詠んだ通りの扇論になる予定。扇（あふぎ）であふぐ人もまたミコト持ち。

【もぐら通信の収蔵機関】

国立国会図書館、コロンビア大学東アジア図書館、「何處にも無い図書館」

【もぐら通信の編集方針】

1. もぐら通信は、安部公房ファンの参集と交歓の場を提供し、その手助けや下働きをすることを通して、そこに喜びを見出すものです。
2. もぐら通信は、安部公房という人間とその思想及びその作品の意義と価値を広く知ってもらうように努め、その共有を喜びとするものです。
3. もぐら通信は、安部公房に関する新しい知見の発見に努め、それを広く紹介し、その共有を喜びとするものです。
4. 編集子自身が楽しんで、遊び心を以て、もぐら通信の編集及び発行を行うものです。

